

# **SLOGAN**

**2023年2月期 通期決算説明資料**

**スローガン株式会社**

**2023年4月13日**

## 通期決算説明会のご案内

---

- 開催日時** 2023年4月13日（木） 19:00～20:00  
※ 質疑応答のため説明会の終了時刻を延長する場合がございます。
- 登壇者** 代表取締役社長 仁平 理斗  
取締役副社長 北川 裕憲
- 開催形式** オンライン配信（ウェビナー）  
<https://us06web.zoom.us/j/84274188794>  
※ 事前登録は不要となりますので、当日は上記URLよりご参加ください。
- 対象者** 個人投資家、機関投資家、アナリスト等どなたでもご参加可能となります。

# 新経営体制（2023年5月30日開催予定の第18回定時株主総会后）

## 新任取締役役に渡辺氏、エグゼクティブアドバイザーに桑畑氏と諸藤氏を招聘

### 取締役会



代表取締役社長  
仁平 理斗



取締役副社長  
北川 裕憲



社外取締役  
渡辺 千賀



社外取締役  
杉之原 明子

### エグゼクティブアドバイザー



桑畑 秀紀 Hideki KUWAHATA  
組織・人材戦略

組織・人事改革、人材育成のコンサルティングサービスを提供する株式会社イメージンス代表取締役社長。日米大手の事業会社で組織・人材マネジメントに携わった後、組織・人事コンサルティング大手マーサーコンサルティングの日本法人マーサージャパンにて、取締役、組織・人事コンサルティング部門代表を歴任し、2008年より現職。



諸藤 周平 Shuhei MOROFUJI  
経営者の成長支援、経営全般

株式会社エス・エム・エス（東証プライム上場）の創業者であり、11年間にわたり代表取締役社長として会社を東証一部（現・プライム）上場まで牽引した。同社退任後2014年より、シンガポールにてREAPRA PTE. LTD.を創業し、東南アジア・日本を中心に、数多くのビジネスを立ち上げる事業グループを形成する。REAPRAグループCEO。

1. エグゼクティブアドバイザーとは、高収益・高成長の実現による企業価値向上に向けた戦略構築及びその実行を支える存在として、当社経営において重要と考えられる領域に関する豊富な経営・事業経験や高度な専門的知識を有する人材を言います。
2. 詳細については、2023年4月13日に発表した「取締役候補者の選任及び新経営体制に関するお知らせ」をご覧ください。

# 新任取締役候補者に渡辺千賀氏

## テクノロジー関連領域に精通した渡辺氏を迎え入れ、事業成長を促進



### 渡辺 千賀 Chika WATANABE

東京大学工学部都市工学科卒業、スタンフォード大学経営大学院経営修士（MBA）。三菱商事にて、不動産開発向け情報システム企画開発、ソフトウェア・ハードウェアの事業企画、米国インターネット基盤技術ベンチャーへの投資に関わった後、マッキンゼーで戦略コンサルティングに従事。2000年からシリコンバレーに移り、コンサルティング事業を展開。

（略歴及び重要な兼職の状況）

1990年 4 月 三菱商事株式会社入社  
1999年 4 月 マッキンゼー・アンド・カンパニー入社  
2000年 1 月 株式会社ネテオニー入社  
2000年10月 BSGP, Inc. プリンシパル（現任）  
2009年 4 月 Naan Studio, Inc.入社  
2020年 4 月 EastMeetEast, Inc. 取締役（現任）  
2021年 3 月 ソウルドアウト株式会社 社外取締役  
2022年 4 月 G.U.テクノロジーズ株式会社 取締役（現任）

1. 2023年5月30日開催予定の第18回定時株主総会に新任取締役候補者として付議いたします。
2. 詳細については、2023年4月13日に発表した「取締役候補者の選任及び新経営体制に関するお知らせ」をご覧ください。
3. 渡辺千賀氏は社外取締役候補者であり、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出る予定であります。

## IRニュースに関するメール配信登録のご案内

株主・投資家の皆様との継続的なコミュニケーションを目的として、当社からのIRニュースを受け取ることができる配信サービスを導入しております。当社の適時開示情報や各種IRニュースをお届けいたしますので、ぜひご登録ください。

### 登録方法

下記URLからご登録いただけます。

#### ■ 日本語

<https://www.magicalir.net/9253/mail/>

#### ■ English

[https://www.magicalir.net/9253/mail/index\\_en.php](https://www.magicalir.net/9253/mail/index_en.php)

▶ メールアドレスと職種のみで簡単に登録が可能です。

### IRメール配信サービス

ご登録の前に、個人情報の取り扱いについてご確認ください。  
ご同意いただける場合は、下記の登録フォームにメールアドレス・職種をご入力の上、ご登録ください。

メールアドレス	必須	<input style="width: 95%;" type="text"/>
メールアドレス (確認用)	必須	<input style="width: 95%;" type="text"/>
職種	必須	<input type="radio"/> 個人投資家 <input type="radio"/> 機関投資家 <input type="radio"/> アナリスト <input type="radio"/> 報道機関 <input type="radio"/> その他
個人情報の取り扱い (プライバシーポリシー) について	必須	「スローガン株式会社個人情報保護方針」をご確認ください。 <a href="https://www.slogan.jp/privacy/">https://www.slogan.jp/privacy/</a> <input type="checkbox"/> プライバシーポリシーについて同意する

**INDEX**

- 1 | 会社概要
- 2 | 2023年2月期通期業績ハイライト
- 3 | 2024年2月期通期業績予想
- 4 | 経営方針
- 5 | Appendix

# 会社概要

# Corporate Profile

## **SLOGAN**

会 社 名	スローガン株式会社 Slogan Inc.
上 場 市 場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：9253）
代 表 者	代表取締役社長 仁平 理斗
設 立 年 月 日	2005年10月24日
所 在 地	東京都港区南青山2-11-17 第一法規本社ビル3F
事 業 内 容	新産業領域向け求人プラットフォーム「Goodfind」を通じた新卒採用支援サービス等
事 業 セ グ メ ン ト	新産業領域における人材創出事業
連 結 社 員 数	121名（2023年2月28日時点） <sup>(1)</sup>
許 可 認 可	有料職業紹介事業 厚生労働大臣許可番号 13-ユ-302267
グ ル ー プ 会 社	チームアップ株式会社（当社100%子会社）

1. 連結社員数は、臨時雇用者数（契約社員、アルバイト、パートタイマー及び人材派遣会社からの派遣社員を含む）を除いた数となります。

## 人の可能性を引き出し 才能を最適に配置することで 新産業を創出し続ける。

私たちスローガンは、上記ミッションを掲げて、新産業領域における人材の最適配置を中心として、人のもつ可能性に着目した事業を展開しています。

人の可能性を引き出すこと、才能の最適配置を追い求める挑戦、そして、新産業を創出し続ける挑戦は、長期で追求しがいのある大きな目標です。

# 「Goodfind」を中心とし、新産業領域における人的資本関連サービスを展開

## Mission

人の可能性を引き出し 才能を最適に配置することで 新産業を創出し続ける。

「新産業領域 × 人的資本投資」



### 伝える

新産業領域の魅力を引き出し  
世の中に伝える

若手イノベーション人材向けビジネスメディア

# FASTGROW



### 採用する

挑戦志向・成長意欲のある  
若手人材との出会いを提供

厳選就活プラットフォーム

# Goodfind

You'll find good to great.

コンサル就活サービス

 FactLogic

長期インターン紹介サービス

 Intern Street

社会人3年目までの人材向け  
キャリア支援サービス

# G3

ベンチャー・スタートアップ求人  
特化型エージェント

**Goodfind** Career



### 育てる

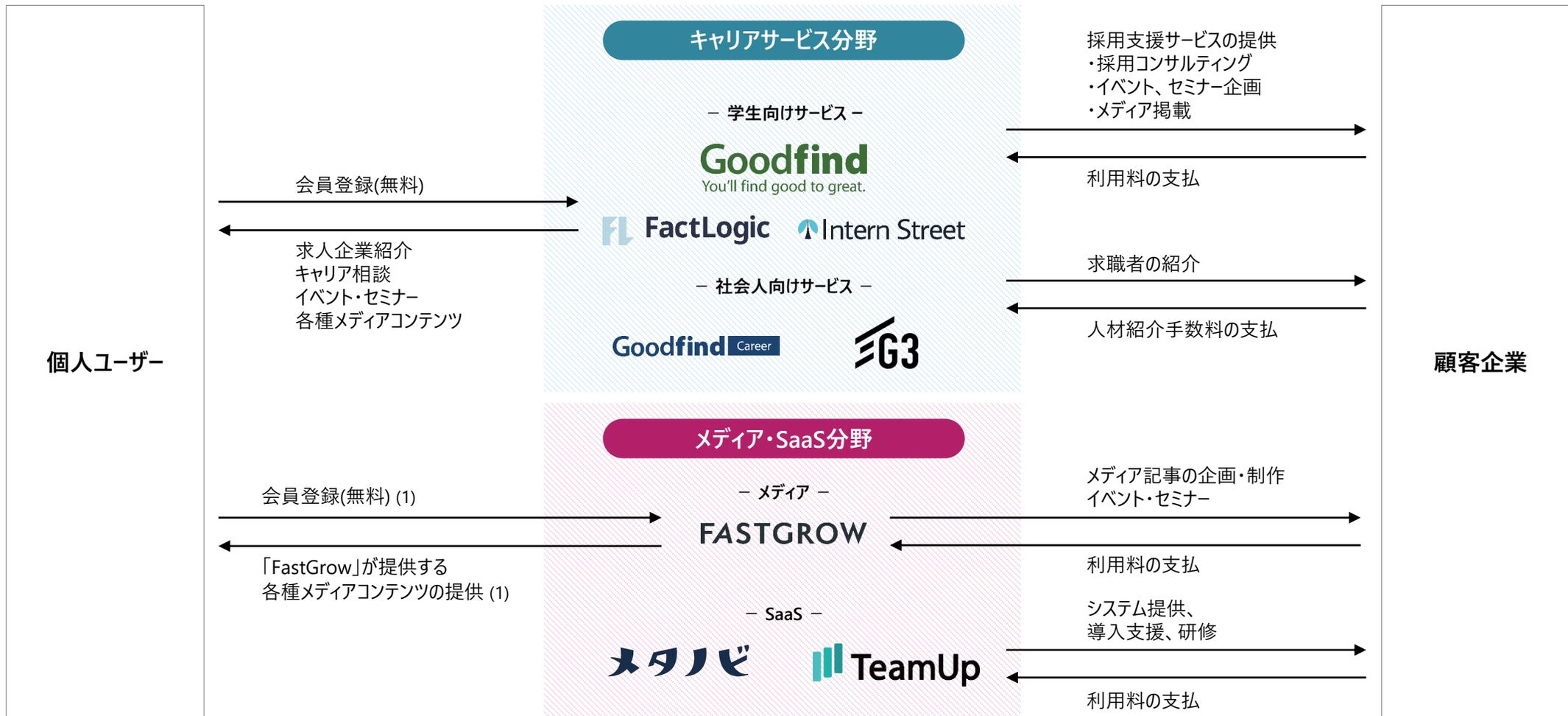
本質的な人材育成を  
SaaSで提供

1on1の仕組みをつくるSaaS型HRサービス

# TeamUp

動画×経験学習プラットフォーム

# スタナビ



1. 会員登録は無料となりますが、一部有料で提供するコンテンツがあります。

# キャリアサービス分野 | Goodfindの事業概要

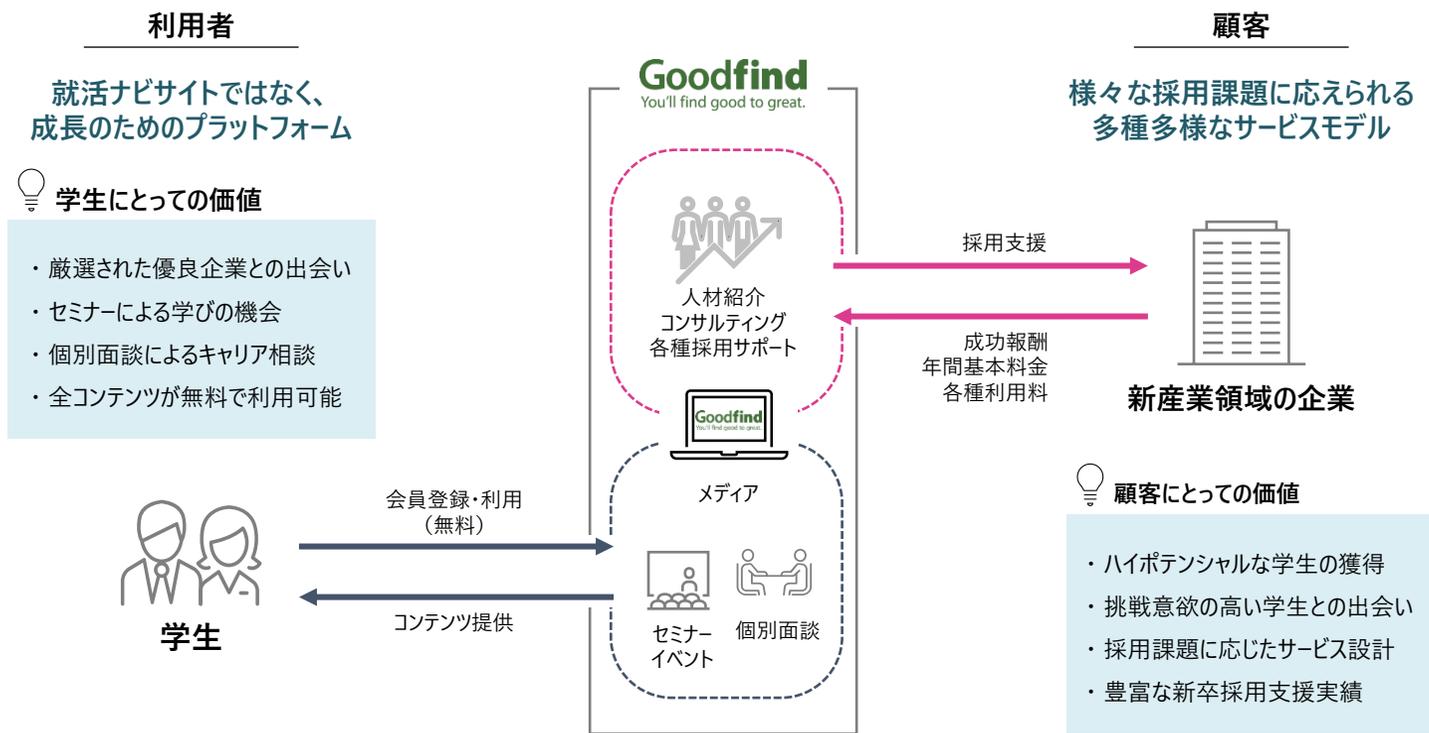


新卒学生向け

## 厳選就活プラットフォーム「Goodfind」

厳選就活メディア「Goodfind」を運営し、ベンチャー・スタートアップ企業を中心とした新産業領域の企業の新卒採用と挑戦意欲・成長志向の高い学生の就職活動を支援するプラットフォームを提供しております。新卒学生に対しては、セミナーやイベント、個別面談を通じて新産業領域へのキャリア機会を創出。顧客企業に対しては、3つのサービスモデル（①成功報酬型人材紹介サービス、②人材紹介一体型コンサルティングサービス、③メディアサービス）を顧客のニーズに合わせたカスタマイズして提供することで、顧客の採用成功を支援します。

## ビジネスモデル



## サービスモデル

### ① 成功報酬型人材紹介サービス

当社インキュベーションパートナー(1)による個別面談やセミナー・イベント等への参加情報を通じて蓄積された新卒学生のデータベースから、顧客企業の求人要件に合う新卒学生を個別に紹介するサービスです。

料金体系：初期費用 + 成功報酬 / 人  
入社人数に応じて費用が発生する料金体系

### ② 人材紹介一体型コンサルティングサービス

当社リクルーティングパートナー(2)が、顧客企業の採用目標人数の達成に向けたコンサルティングを年間で提供するサービスです。採用像や求人要件へのアドバイス、学生に対する訴求ポイントの言語化、有望候補者の継続的なフォロー、定例ミーティングによるサポート等を提供します。また、「Goodfind」へのセミナーページ年間掲載が含まれます。

料金体系：年間基本料金 + 成功報酬 / 人  
顧客の採用目標人数に応じた年間基本料金を設定し、当該採用目標人数以内の場合は追加料金は発生せず、超えた場合にのみ成功報酬が発生する料金体系

### ③ メディアサービス

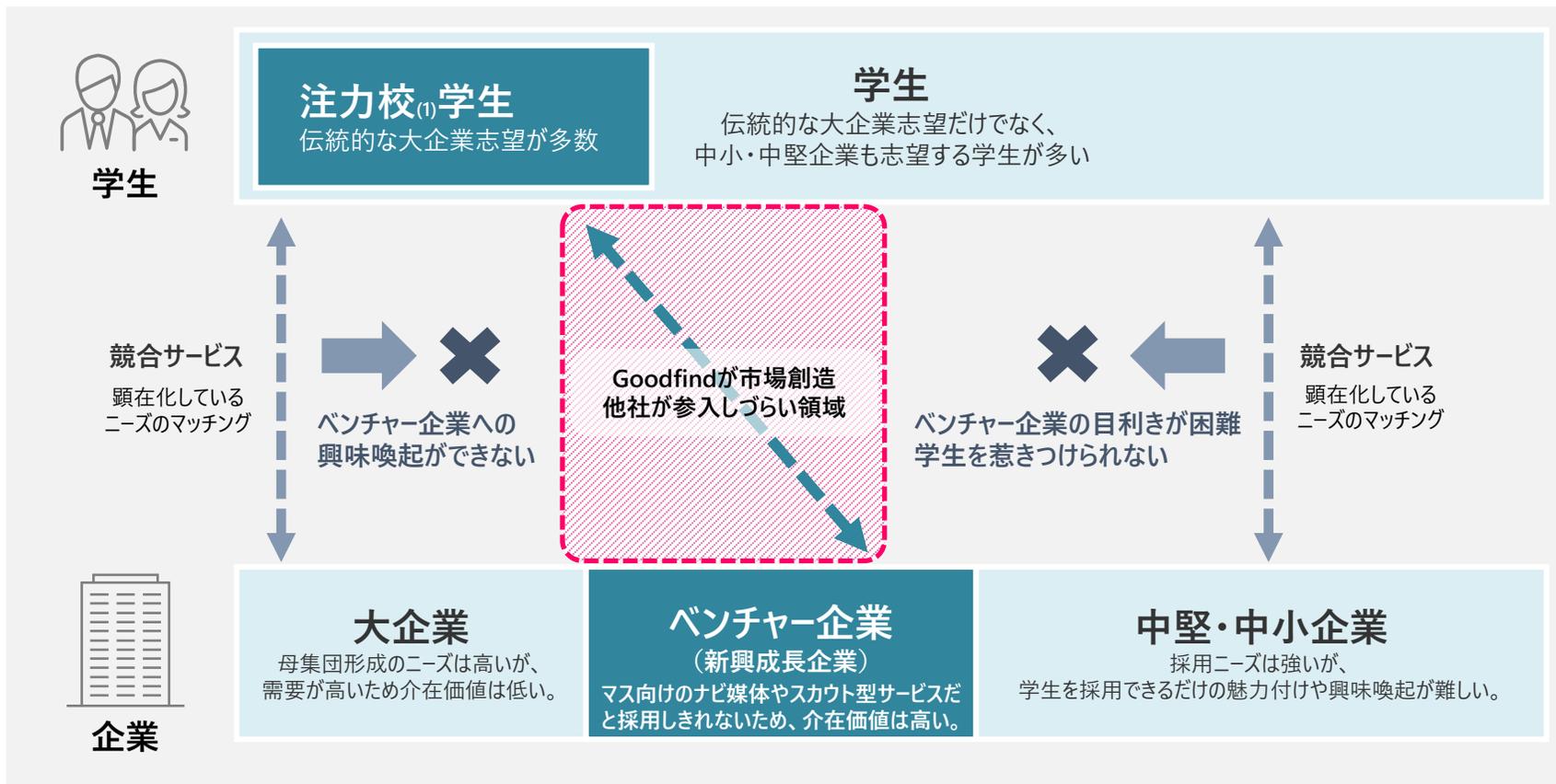
「Goodfind」へのメディア掲載、セミナーやイベントの企画・運営、顧客企業が実施する説明会や選考会への送客、採用ブランディング等の採用活動に必要な各種支援を行うサービスです。

料金体系：顧客ニーズに合わせた多種多様なサービス料金体系  
例) メディア掲載費用 / 月  
イベント出展料 / 回  
企画セミナー開催料 / 回  
送客課金 / 人

1. インキュベーションパートナーとは、「Goodfind」に登録された学生に対して個別面談を行い、学生のキャリア構築を支援する学生担当を言います。
2. リクルーティングパートナーとは、顧客企業の採用成功のため、採用に関する進捗状況や選考状況に応じたアドバイスや、インキュベーションパートナーとの連携を行う企業担当を言います。

# キャリアサービス分野 | Goodfindのユニークなビジネスモデルと競争優位性

顕在化しているニーズ同士をマッチングすることが人材紹介における一般的なビジネスモデル  
 学生の潜在的なニーズを引き出してマッチングすることでユニークかつ高い介入価値を実現



ユニークなビジネスモデルを支える  
**“3つのCapability”**

- 1 顧客の目利き力
- 2 行動変容を生み出す力
- 3 マッチング力

1. 「Goodfind」は学生であれば会員資格を有し、学校名による選別は行っておりませんが、顧客企業における過去の採用実績や学生動向等を考慮して注力校を定義し、注力校の会員数及びその割合をモニタリングしております。本資料公表日現在における注力校は、東京大学、京都大学、早稲田大学、慶應義塾大学、東京工業大学、一橋大学、大阪大学、神戸大学、北海道大学、東北大学、名古屋大学、九州大学、上智大学、東京理科大学、青山学院大学、立教大学、明治大学、法政大学、中央大学、同志社大学、立命館大学、関西学院大学、関西大学、国際基督教大学、横浜国立大学、国際教養大学、立命館アジア太平洋大学と定義しております。

# キャリアサービス分野 | その他の事業概要

## FactLogic 新卒学生向け

コンサル就活サービス「FactLogic」

外資・日系コンサルティングファームに特化した就活対策及び選抜型コミュニティの形成を行う就活サービスです。



## サービスモデル

・メディアサービス  
メディア掲載や説明会・選考会への送客等の採用サポートサービスを提供。

料金体系：メディア掲載費用 / 月  
企画セミナー開催料 / 回  
メディア掲載を中心とした採用サポートサービスを、顧客ニーズに合わせて多種多様な料金体系で提供。  
なお、上記は主な料金体系となります。

## Intern Street 学生向け

長期インターン紹介サービス「Intern Street」

スタートアップ・ベンチャー企業の求人の特化した、長期インターン人材の紹介サービスです。



## サービスモデル

・成功報酬型人材紹介サービス  
・メディアサービス  
主に、長期インターンを希望する学生を成功報酬型で紹介します。

料金体系：長期インターン成功報酬 / 人  
新卒成功報酬 / 人  
入社人数に応じて費用が発生する料金体系。  
新卒成功報酬については、長期インターンの紹介により新卒入社に至った場合に追加で発生。  
なお、上記は主な料金体系となります。

## Goodfind Career 社会人向け

ベンチャー・スタートアップ求人特化型エージェント「Goodfind Career」

スタートアップ・ベンチャー企業の求人の特化した転職エージェントです。



## サービスモデル

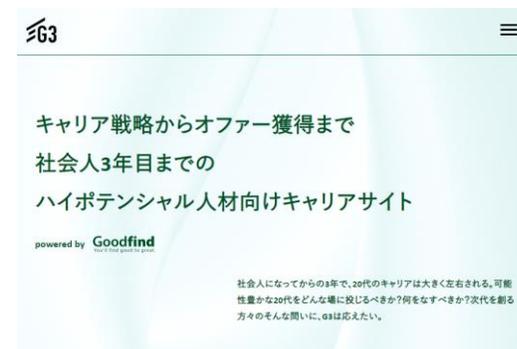
・成功報酬型人材紹介サービス  
・メディアサービス  
主に、転職エージェントとして転職候補者を成功報酬型で紹介します。

料金体系：成功報酬 想定年収×契約料率 / 人  
入社した候補者の想定年収に契約料率を掛けた金額を成功報酬とする料金体系。但し、成功報酬が最低保証料を下回る場合には、最低保証料が成功報酬となります。  
なお、上記は主な料金体系となります。

## G3 社会人向け

社会人 3 年目までのハイポテンシャル人材向けキャリア支援サービス「G3」

キャリア戦略の構築からオファー獲得まで、社会人 3 年目までのハイポテンシャル人材向けキャリア支援サービスです。



# メディア・SaaS分野の事業概要

## FASTGROW 「新産業領域に必要な情報インフラをつくる」

メディア

### ビジネスメディア「FastGrow」

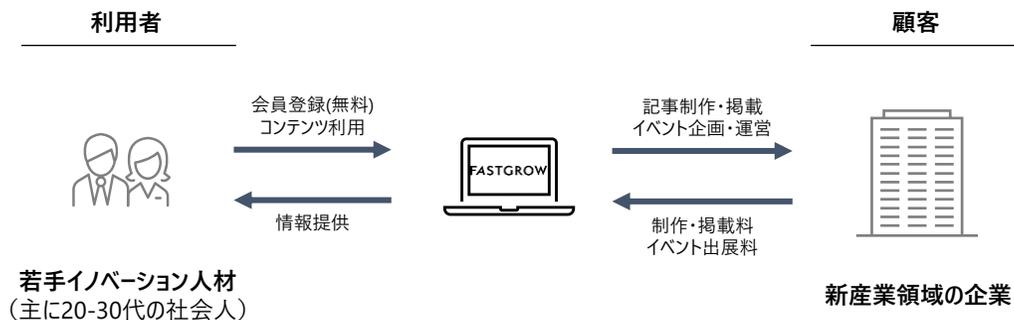
新産業領域の情報を整理し、発信していくメディアです。新産業領域への挑戦を推進し、スタートアップ・ベンチャー企業の採用広報やブランディング、サービス認知を支援するビジネスメディアです。

登録会員数 **2.4**万人 (2023/2末)

取引社数 **75**社 (2023/2末)



### サービスモデル



料金体系：ブランドコンテンツ制作費用 / 記事  
 イベント出展料 / 回  
 ブランドコンテンツ制作については、企画や掲載も含まれ、制作した記事についてはFastGrowに掲載されますが、掲載料金は追加で発生しない料金体系となります。  
 なお、上記は主な料金体系となります。

## TeamUp

「BtoBプロダクトにより入社後の組織課題にアプローチ」

SaaS

### SaaS型HRサービス「TeamUp」

1on1ミーティング及び360度フィードバックシステム「TeamUp (チームアップ)」を提供。人材育成や組織活性化を通じた人と組織の成長支援を行います。

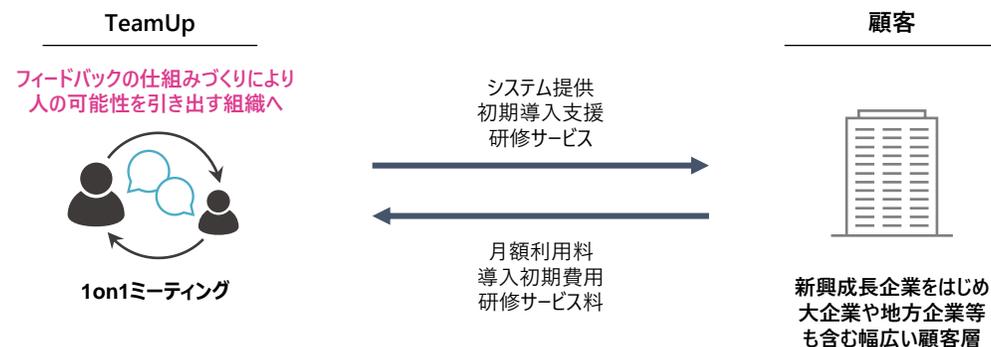
強い組織には  
 コミュニケーションがある  
クラウド1on1ツール TeamUp(チームアップ)

MRR(1) **509**万円 (2023/2末)

契約社数 **52**社 (2023/2末)



### サービスモデル



料金体系：初期費用 + システム利用料 / 月  
 導入・運用サポートは顧客の課題に合わせて別途見積り  
 月額課金モデルによるシンプルな料金体系。アカウント発行数に応じて変動。  
 顧客の課題に応じて、導入・運用サポートや入社後の活躍を1on1を活用して支援するサポートサービスも提供。

1. MRRとは、「Monthly Recurring Revenue」の略称で、月ごとに繰り返し得られる収益のことを言います。

# 新規事業 | 動画×経験学習プラットフォーム「メタノビ」のサービス提供を開始

## メタノビ

メタ認知で行動変容を生み出すサイクルで、  
人材育成課題を解決します。

メタノビは、バイアスやモノの見方にフォーカスした独自の動画コンテンツにより、経験学習モデルを活用した継続的な学習機会の提供を行うプラットフォームです。

サービス提供開始日 : 2023年4月13日

サービス紹介ページ : <https://www.metanobi.jp/>



## 2023年2月期通期業績ハイライト

## 2023年2月期通期連結業績サマリー

- 1 | 2023年2月期の**売上高は増収**となるも、**計画未達**  
主に人員体制強化による人件費の増加により**前年比減益**で着地
- 2 | **Goodfind Career**が前年比で大幅な**減収**となった一方、  
**FastGrow**が販売戦略の見直しにより**伸長し、売上成長に貢献**
- 3 | 競争力の源泉となる**人的資本への投資は継続**  
2023年4月新卒入社者は11名（2022年卒比+2名）

## 2023年2月期の通期連結業績は増収減益

FastGrowの成長の一方、Goodfind Careerの大幅減収により売上高は3.8%増にとどまる  
人員体制の強化により営業利益は前年同期比19.3%減となり、計画も未達

	FY2023-Q4会計期間 (2022/12-2023/2)			FY2023-Q4累計期間 (2022/3-2023/2)			
	金額 (売上高比)	前年同期比	対業績予想 達成率 <sup>(1)</sup>	金額 (売上高比)	前年同期比	対業績予想 達成率 <sup>(1)</sup>	
売上高	328 百万円 (100.0%)	+10.5%	81.4%	1,471 百万円 (100.0%)	+3.8%	94.8%	主に社会人向けサービス「Goodfind Career」の大幅な減収となった一方、メディアサービス「FastGrow」の成長が寄与し、前年同期比及び業績予想比は左記水準にとどまる。詳細は次頁(事業部門別売上高分析)を参照。
営業損益	8 百万円 (2.7%)	— % (+75百万円)	13.5%	208 百万円 (14.2%)	△19.3%	80.2%	人員体制の強化により人件費が増加したことに伴い、販売費及び一般管理費が増加した結果、前年同期比△19.3%となった。また、売上高の未達により営業利益も業績予想を下回る着地となった。
経常損益	5 百万円 (1.8%)	— % (+73百万円)	9.0%	209 百万円 (14.3%)	△26.1%	79.6%	前期では有価証券売却益32百万円の営業外収益が発生していたものの、当期では発生していないことにより、経常利益は前年同期比△26.1%となった。
親会社株主に帰属 する四半期純損益	11 百万円 (3.6%)	— % (+64百万円)	27.8%	139 百万円 (9.5%)	△32.8%	83.6%	

1. 2022年10月12日に公表した修正業績予想に対する達成率となります。

## 事業部門別売上高

社会人向けサービスでは、Goodfind Careerの決定人数減少に伴い大幅な減収  
メディア・SaaS分野ではFastGrowが顧客単価の向上により増収、連結売上高に貢献

	FY2023-Q4会計期間 (2022/12-2023/2)			FY2023-Q4累計期間 (2022/12-2023/2)		
	金額	前年同期比	対業績予想 達成率 <sup>(1)</sup>	金額	前年同期比	対業績予想 達成率 <sup>(1)</sup>
売上高	328百万円	+10.5%	81.4%	1,471百万円	+3.8%	94.8%
キャリアサービス分野	236百万円	△0.6%	76.6%	1,153百万円	△3.7%	93.5%
学生向けサービス	216百万円	+5.3%	81.3%	1,063百万円	+1.6%	95.2%
社会人向けサービス (※)	20百万円	△37.6%	47.4%	89百万円	△40.3%	77.4%
メディア・SaaS分野	92百万円	+54.8%	97.1%	318百万円	+43.8%	99.7%

※ 社会人向けサービスに区分される2022年1月に新規事業として開始した社会人3年目までの人材向けキャリア支援サービス「G3」については、Goodfindの卒業生会員を中心とした求職者へのアプローチにより、前年同期比増収で成長しており、減収要因は「Goodfind Career」によるものであります

1. 2022年10月12日に公表した修正業績予想に対する達成率となります。

# 前年比減益及び計画未達に係る重点課題と対応状況

## 重点課題 (※)

## 対応状況

1

### Goodfindの2024年卒会員の利用率及び求人企業とのマッチング創出

(対応策)  
行動変容を生み出すコンテキスト及びコンテンツの改善・強化



- これまでオンライン中心だったコンテンツについて、オフラインを取り入れた施策を実施
- 学生にフィットするコンテンツの提供を通じて、会員数及び利用率について改善が進捗

2

### 転職市場における競争優位性向上

(対応策)  
Goodfindとの連携強化



- G3においては、引き続きGoodfindとの連携強化により施策を実施
- Goodfind Careerにおいては、FastGrowとのサービス間連携を開始し、集客施策の実施により集客力の改善が進捗

※ 重点課題の詳細については2022年10月12日に公表した「2023年2月期第2四半期決算説明資料」p.41-44をご覧ください。

URL : <https://ssl4.eir-parts.net/doc/9253/tdnet/2188795/00.pdf>

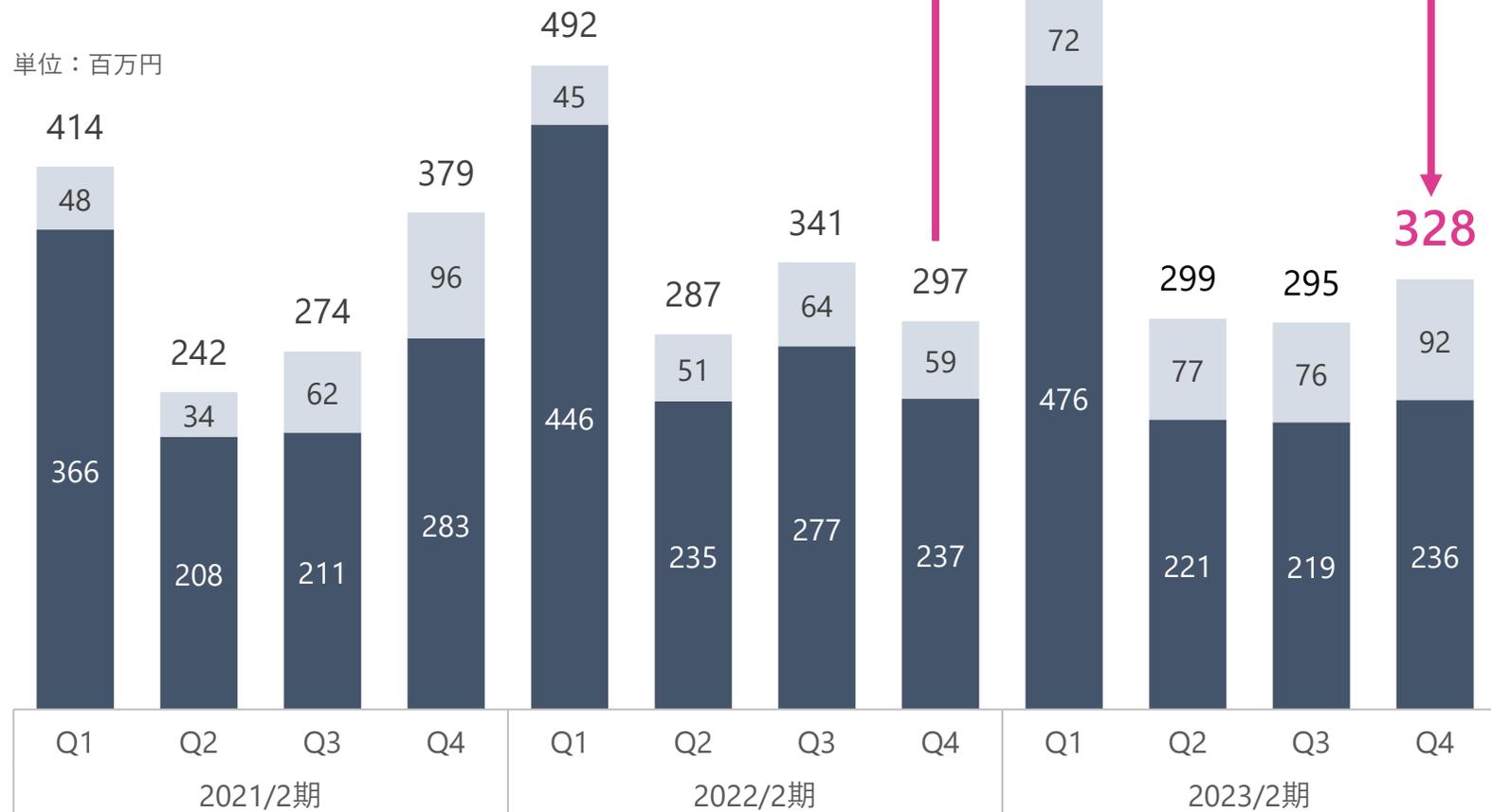
# 四半期会計期間の連結売上高推移

新卒人材紹介手数料(成功報酬)は入社日基準で収益が認識されるため、入社日が属するQ1にキャリアサービス分野の売上高は偏重傾向

+10.5%

- メディア・SaaS分野
- キャリアサービス分野

単位：百万円



1. グラフは会計期間の数値となります。

## ■ メディア・SaaS分野 前年同期比 +54.8%

- FastGrowにおいて、前期から取り組んだ販売戦略の見直しによる取引社数の伸長により、+79.2%
- TeamUpにおいて、1社当たり契約単価の上昇はQ1から継続し、+4.5%

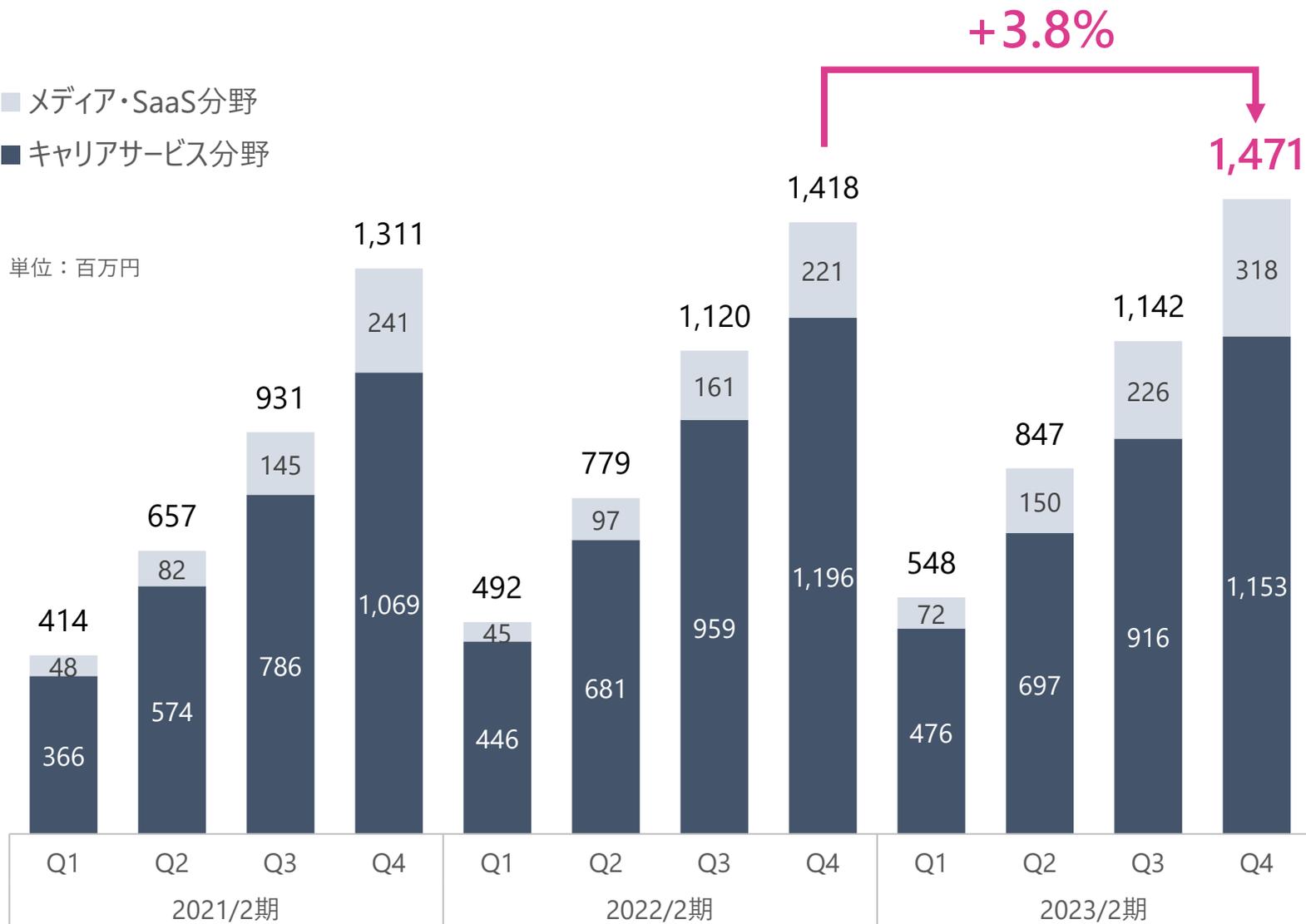
## ■ キャリアサービス分野 前年同期比 △0.6%

- Goodfindを含む学生向けサービスにおいて+5.3%の増加
- Goodfind Careerにおいてキャリアエージェントの育成が遅延したこと及び集客力不足等に伴い入社人数が大幅減少し、社会人向けサービスは△37.6%の減少となった結果、キャリアサービス分野はマイナス成長となった。

# 四半期累計期間の連結売上高推移

- メディア・SaaS分野
- キャリアサービス分野

単位：百万円



1. グラフは累計期間の数値となります。

## ■ メディア・SaaS分野 前年同期比 +43.8%

- FastGrowにおいて、前期から取り組んだ販売戦略の見直しによる販売単価及び社数の伸長により、+57.8%
- TeamUpにおいて、1社当たり契約単価の上昇はQ1から継続し、+15.8%

## ■ キャリアサービス分野 前年同期比 △3.7%

- Goodfindを含む学生向けサービスにおいては+1.6%と前年同水準で推移
- Goodfind Careerにおいてキャリアエージェントの育成が遅延したこと及び集客力不足等に伴い入社人数が大幅減少し、社会人向けサービスは△40.3%の減少となった結果、キャリアサービス分野はマイナス成長となった。

## 顧客数及び顧客単価は前年同期同水準で推移

スタートアップ・ベンチャー企業を中心に新産業領域の企業のニーズを発掘

「Goodfind Career」における大幅減収の影響を受けながらも、

新産業領域の企業における人的資本投資の拡大を捉え、顧客単価は成長傾向

	2021/2期	2022/2期	2023/2期	前年同期比
売上高	1,311百万円	1,418百万円	1,471百万円	+3.8%
顧客数	431 社	464 社	460 社	△0.9%
×				
顧客単価	304 万円	305 万円	319 万円	+4.7%

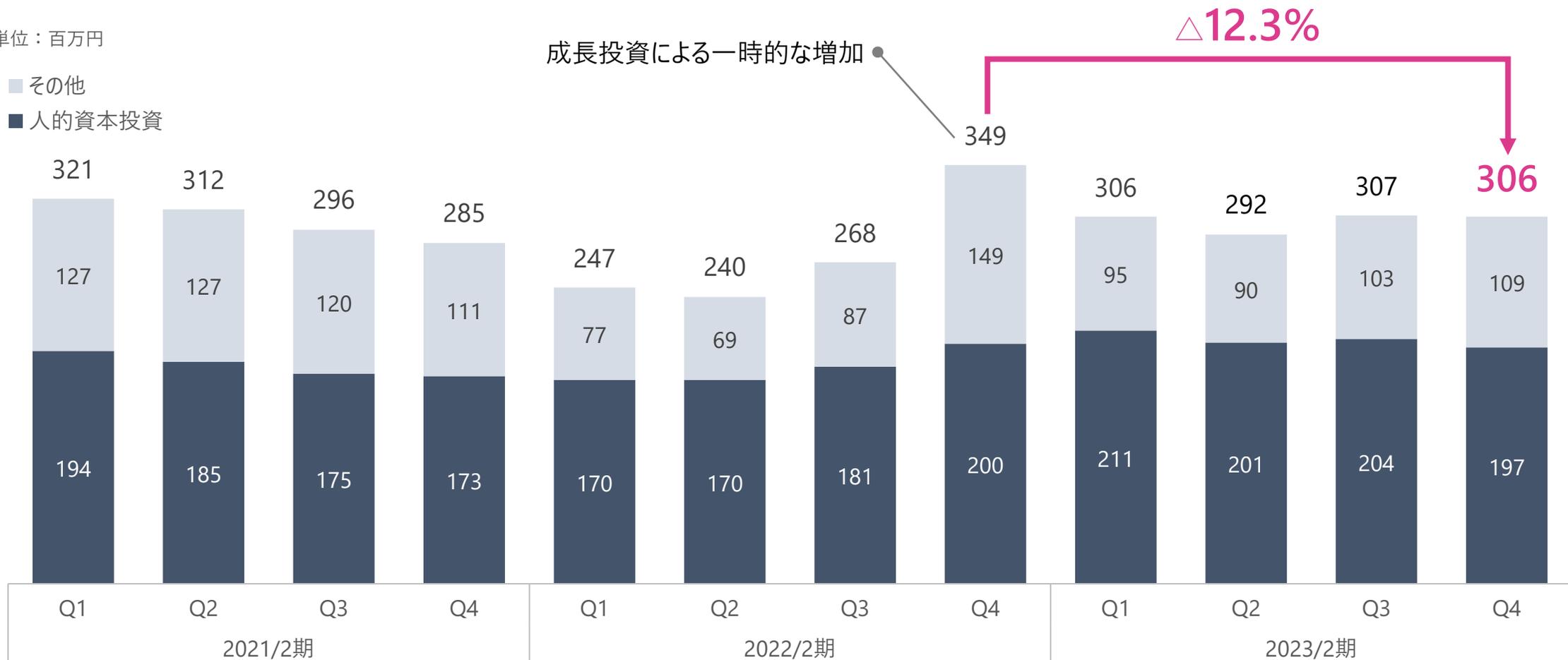
# 販売費及び一般管理費の四半期会計期間推移

人的資本投資は前Q4と同水準で推移

その他の減少については、前Q4に実施した成長投資による一時的な増加が要因

単位：百万円

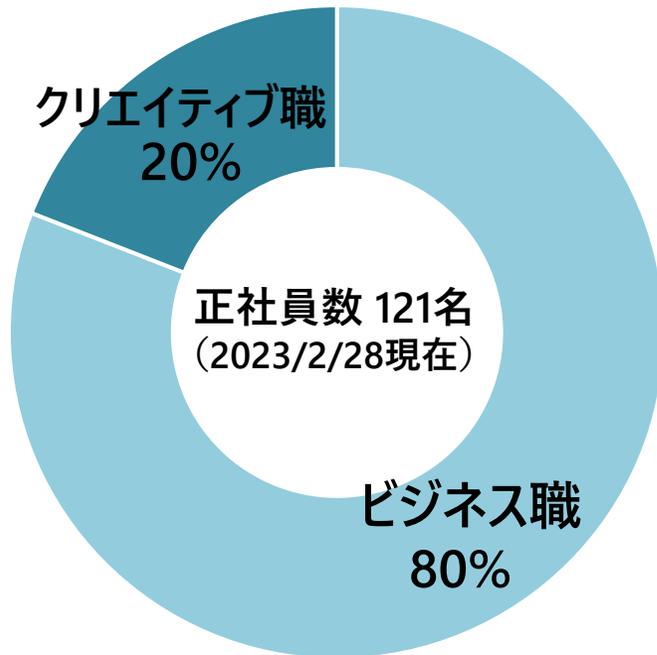
■ その他  
■ 人的資本投資



1. 当社における人的資本投資とは、給与及び賞与、諸手当、法定福利費、採用活動費、福利厚生費、教育研修費等の人材に係る支出と定義しております。

# 競争力の源泉となる人的資本の状況

## 職種別構成割合



## ハイポテンシャルな新卒採用実績(2022年卒)

- デザイナー職は3名全員が武蔵野美術大学卒
- エンジニア職は早稲田大学情報理工学科卒
- ビジネス職は東京大学、早稲田大学、神戸大学、明治大学卒

## 新卒採用を中心とした人材獲得戦略

- 新卒採用により持続可能な成長に資する人材を獲得
- 2023/2期の入社人数21名のうち、2022年4月に入社した新卒社員は9名
- 2023年4月に入社した新卒社員は11名（ビジネス職6名、エンジニア職3名、デザイナー職2名）

## 中期成長戦略「プラットフォーム型・プロダクト型の強化」

- 新卒社員9名のうち、4名がデザイナー及びエンジニア
- 現社員のうち約2割がクリエイティブ職となり、中期成長戦略実行のための開発体制を継続的に増強

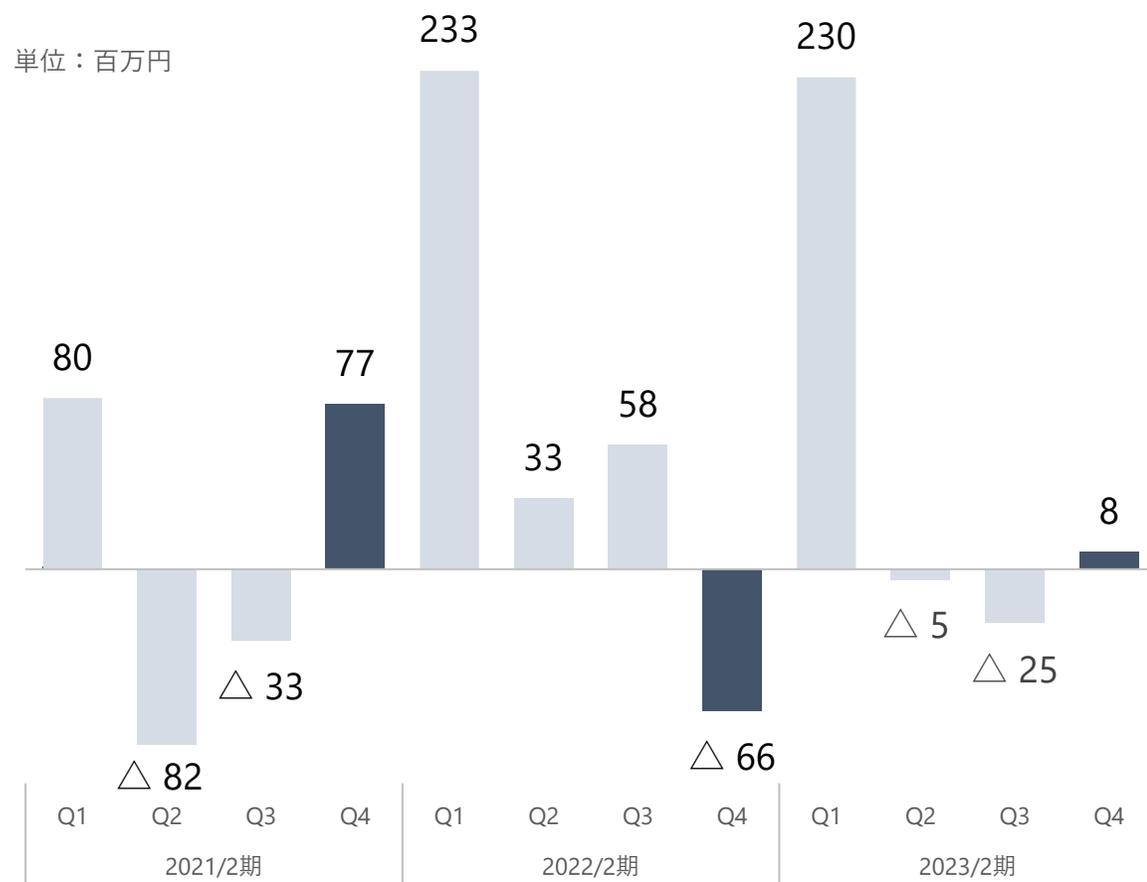
## 新卒社員から若手経営人材を創出

- TeamUpを開発・運営する当社子会社チームアップ株式会社の代表取締役社長・中川絢太は、新卒入社5年目から現職
- 2022年3月に執行役員に就任した川村直道は、2015年に新卒で当社に入社し、現在はGoodfindの責任者を務める

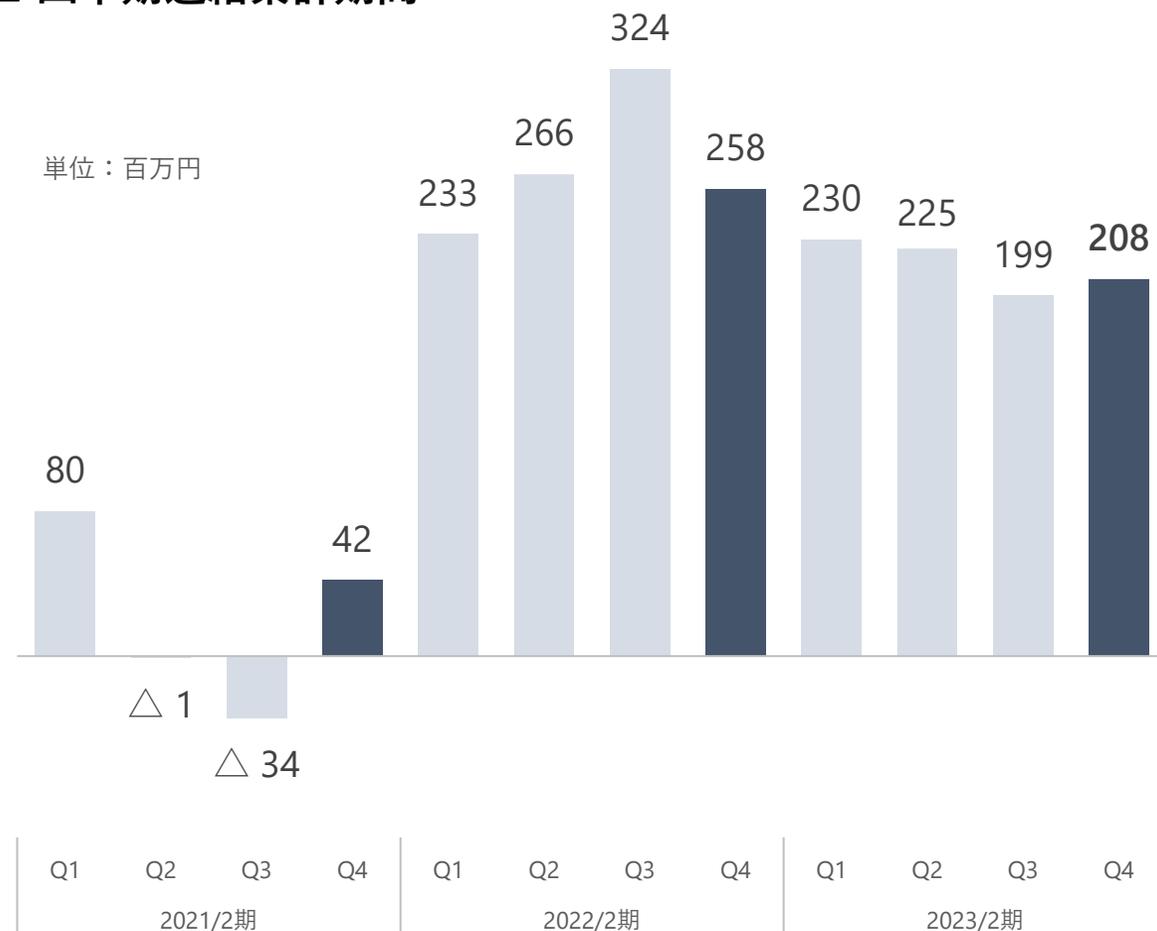
# 四半期営業損益の推移

新卒人材紹介手数料(成功報酬)に係る売上高が入社日である4月に計上される一方、費用について季節的変動はないため、Q1に四半期業績は偏重する傾向

■ 四半期連結会計期間

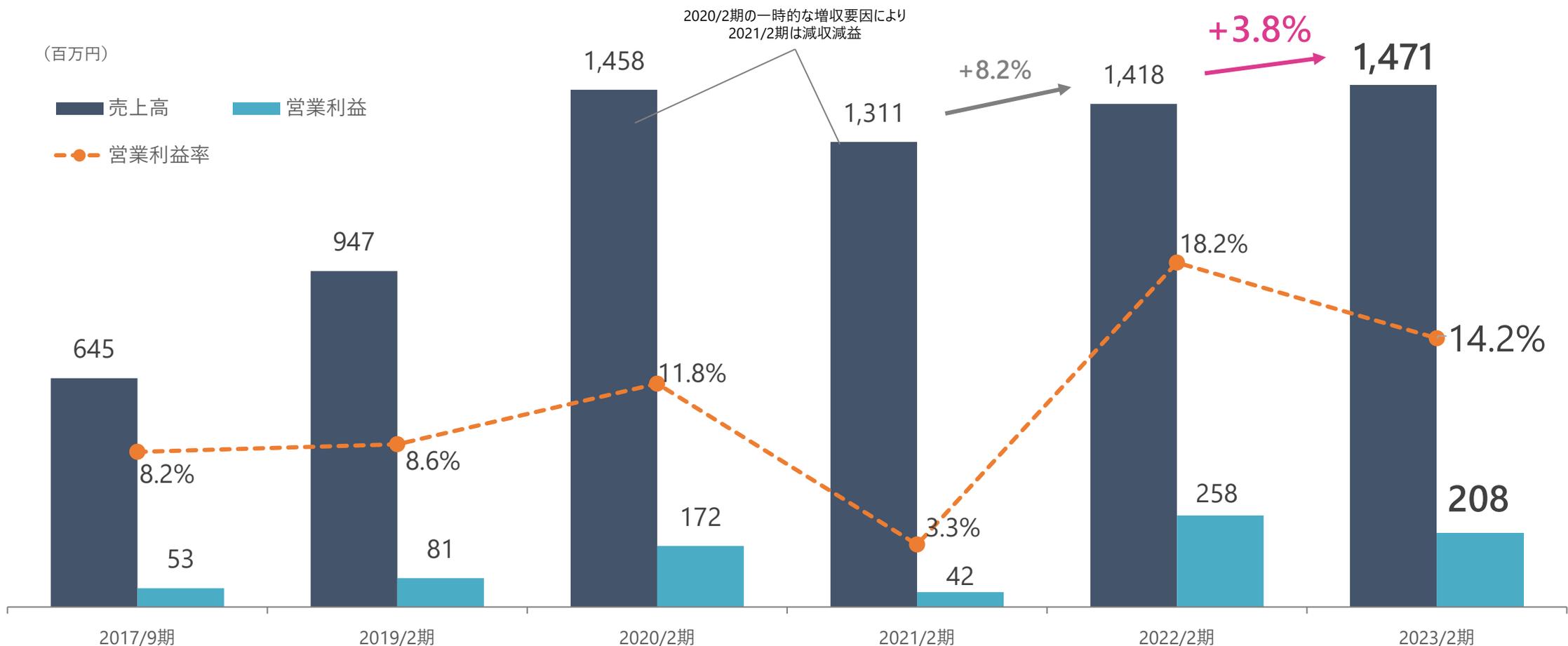


■ 四半期連結累計期間



# 連結業績推移

売上高の継続的な成長について、2022/2期以降の成長率が鈍化  
今後の高収益・高成長に向けた土台づくりが重要課題

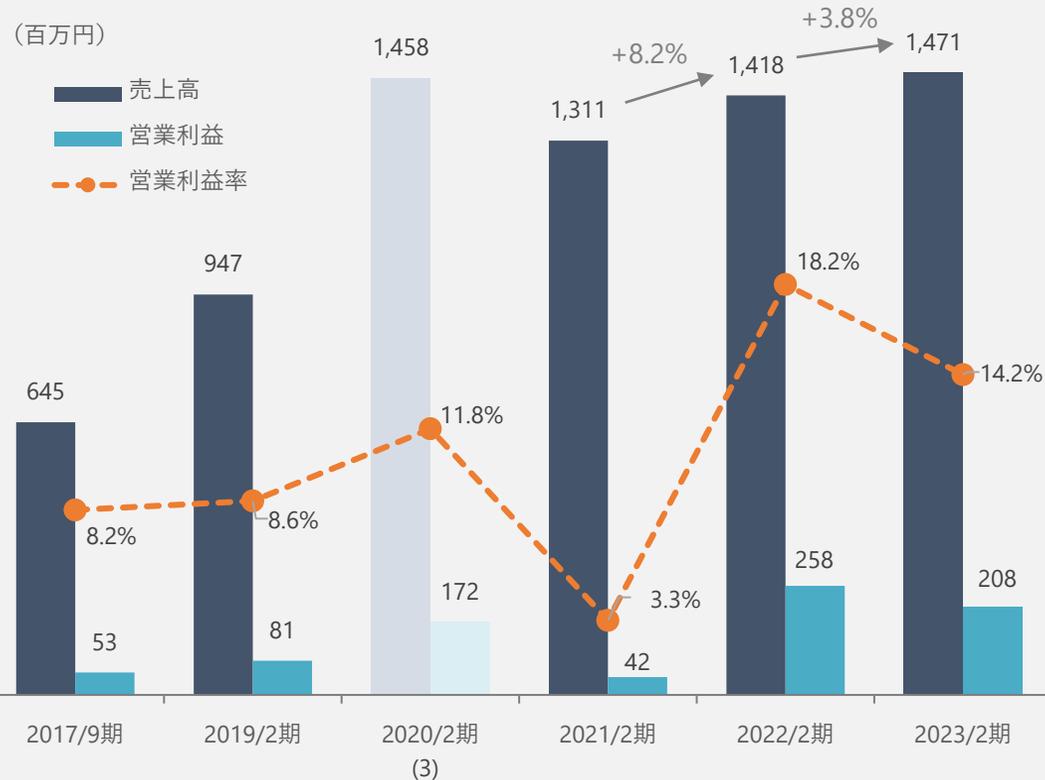


1. 2017/9期以前は9月決算でありましたが、2018/2期に2月決算に変更し、2018/2期は決算期変更により5か月決算のため省略しております。
2. 2017/9期及び2019/2期は単体決算、2020/2期以降は連結決算となります。

## 2024年2月期通期業績予想

# 現状認識と2024年2月期の位置づけ

## 連結業績推移



## －現状認識－

Goodfindにおける2024年卒会員の利用率低下及びマッチング数減少等や、Goodfind Careerを中心とする転職市場での成長苦戦を背景として、2022/2期以降の売上高成長率が鈍化

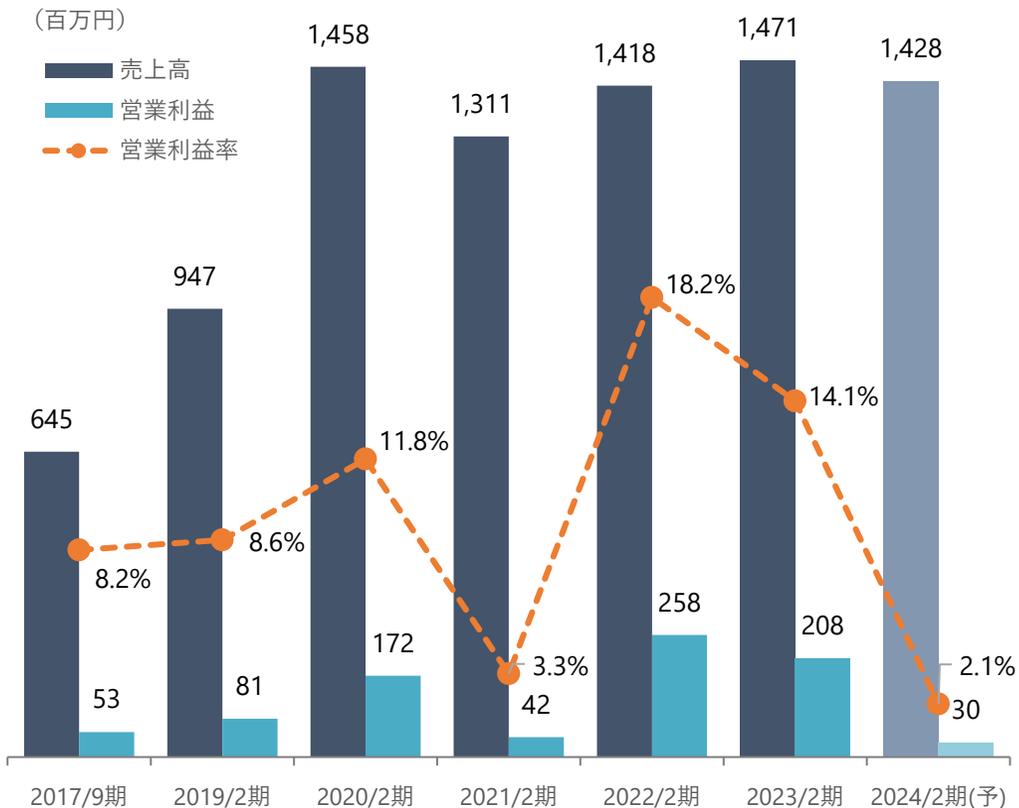
## －2024年2月期の位置づけ－

今後の継続的な高収益・高成長を実現するための土台づくり

1. 2017/9期以前は9月決算でありましたが、2018/2期に2月決算に変更し、2018/2期は決算期変更により5か月決算のため省略しております。
2. 2017/9期及び2019/2期は単体決算、2020/2期以降は連結決算となります。
3. 2020/2期の一時的な増収要因により2021/2期は減収減益となっております。

## 2024年2月期は高収益・高成長を実現するための土台づくり

Goodfindにおける成果型人材紹介手数料(4月計上)が減少する見込みであるため、学生向けサービスは減収を見込み、販管費の増加も伴い減益計画



売上高 **1,428**百万円 (前年比△2.9%)

営業利益 **30**百万円 (前年比△85.3%)

営業利益率 **2.1%** (前年比△12.0pt)

(百万円)

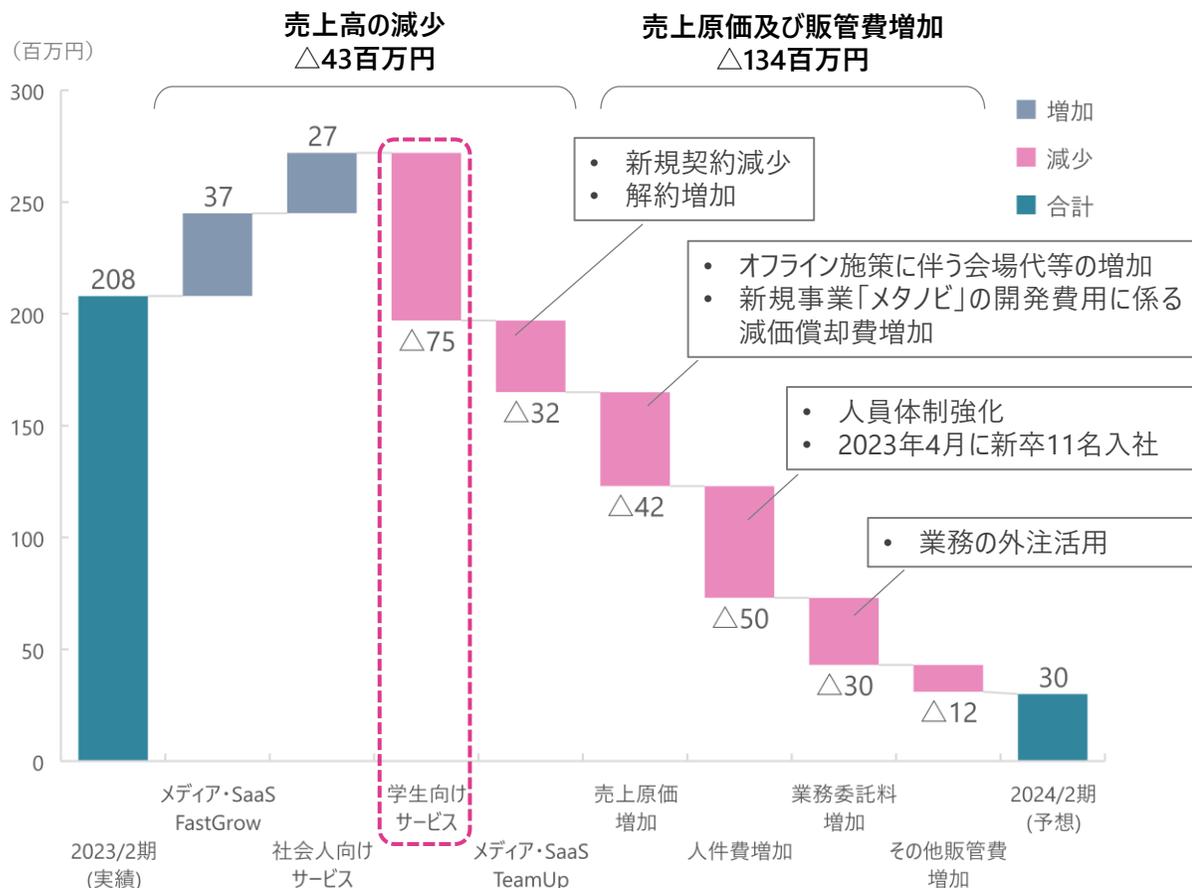
	キャリアサービス分野			メディア・SaaS分野	合計
	学生向けサービス	社会人向けサービス			
売上高	987	117	1,104	323	1,428
前年比	△7.1%	+30.5%	△4.2%	+1.6%	△2.9%

- 2017/9期以前は9月決算でありましたが、2018/2期に2月決算に変更し、2018/2期は決算期変更により5か月決算のため省略しております。
- 2017/9期及び2019/2期は単体決算、2020/2期以降は連結決算となります。
- これまで、業績の季節的変動に係る理解の促進という目的で四半期連結会計期間の売上高及び営業利益の推移を開示しておりましたが、経営環境の変化に柔軟かつ迅速に対応するためには、年度単位での業績管理及び開示が適切であると判断したため、当該記載は省略しております。なお、新卒人材紹介手数料(成功報酬)に係る売上高が入社日である4月に計上されることによる業績の季節的変動リスクは引き続き存在しており、当該リスクに重要な変化が発生した場合には速やかに開示いたします。

# 2024年2月期業績予想における減益要因と事業上の優先課題

営業利益について、前年比△85.3%となる30百万円を見込む  
 事業上の優先課題は「Goodfind」の収益基盤強化

## 営業利益に係る増減要因内訳



「Goodfind」の減収により  
 学生向けサービス△75百万円（前年比△7.1%）

■ 2025年卒 ↑

直近の会員数及び利用率の改善進捗を踏まえて、2025年卒に係る売上高は42百万円の成長を見込む。

■ 2023年卒及び2024年卒 ↓

2023年卒及び2024年卒会員の利用率及びマッチング率の低下の影響により、2023年卒人材紹介手数料(成功報酬)で82百万円の減少、2024年卒に係るコンサルティング及びメディア掲載サービスで35百万円の減少をそれぞれ見込む。

以上より、2025年卒の売上高は回復を見込むものの、前年度の低調な実績が反映される2023年卒・2024年卒の売上減を補えず、減収を見込む。

「Goodfind」の収益基盤強化が  
 事業上の優先課題

# 經營方針

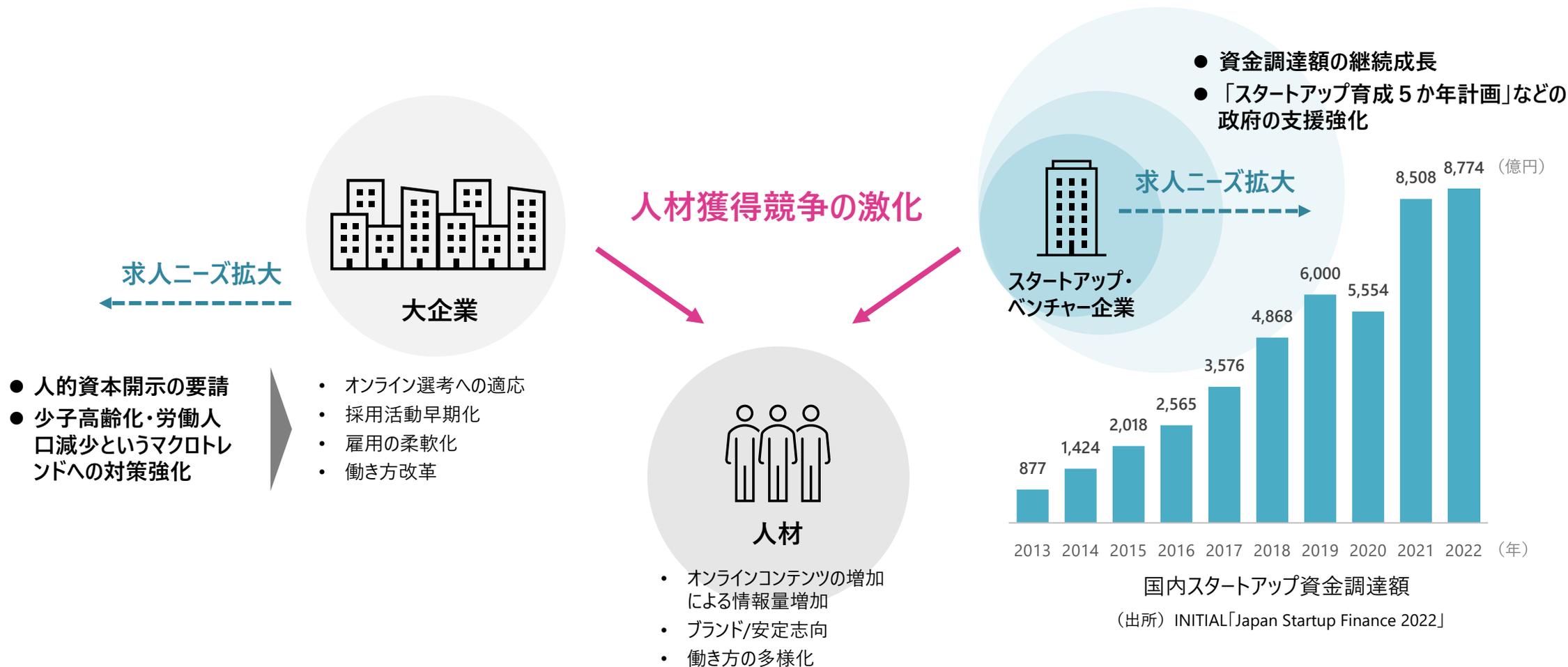
## 経営方針サマリー

- 1 | 当社グループと取り巻く経営環境の**現状認識と振り返り**
- 2 | 足元は継続的な高収益・高成長を目指すための**土台づくり**
- 3 | **新産業領域の人と組織の可能性が引き出され活気づく社会**を目指す

# 経営環境の現状や変化

## スタートアップ・ベンチャー企業にとっては長期的な追い風

## しかしながら、労働人口の減少というマクロ環境により人材の獲得競争はより一層激化



# 経営者の認識と振り返り

1

スタートアップ・ベンチャー企業における人的資本投資というポジションのよさから、急成長を続ける**新産業領域のマクロ環境を捉えて高成長を実現**

2

その一方で、**価値源泉及び競争優位性の磨き込みが後手になり、市場の成長や経営環境の変化によりその課題が顕在化**

3

事業成長を支える**相対優位性の高いオペレーション、組織・人材マネジメント**に大きな伸びしろ



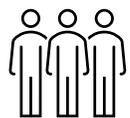
※ グラフは売上高の推移

# 現状を踏まえた足元の重要テーマ

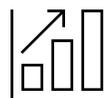
## 継続的な高収益・高成長を目指すための土台づくり

一人当たり営業利益を重要指標とし、その向上に向けた重要テーマに取り組む

### 重要テーマ



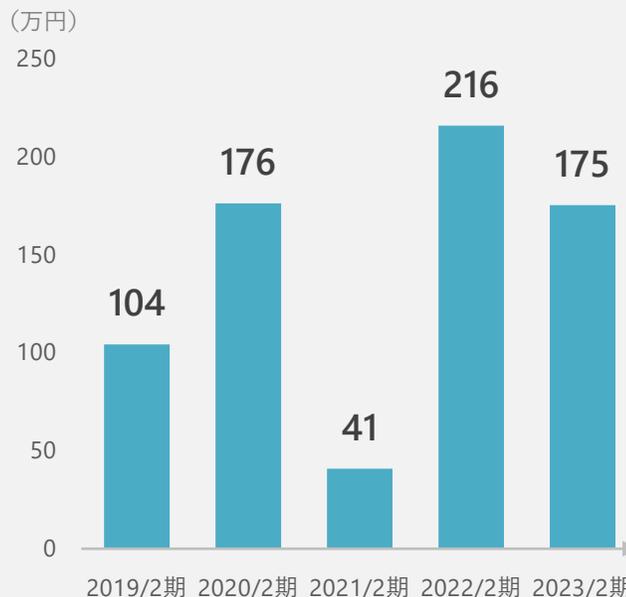
組織・人材・カルチャー



事業マネジメントシステム



### 一人当たり営業利益(※)



### 重点事業



最優先課題は、  
会員の利用及びマッチング改善  
による収益基盤の強化

※「一人当たり営業利益」は、営業利益を期中平均正社員数で除した数値となります。

# 重要テーマと主な具体的施策

## 重要テーマ



### 組織・人材・カルチャー

管掌役員：仁平理斗（代表取締役社長）



### 事業マネジメントシステム

管掌役員：北川裕憲（取締役副社長）

## 主な具体的施策

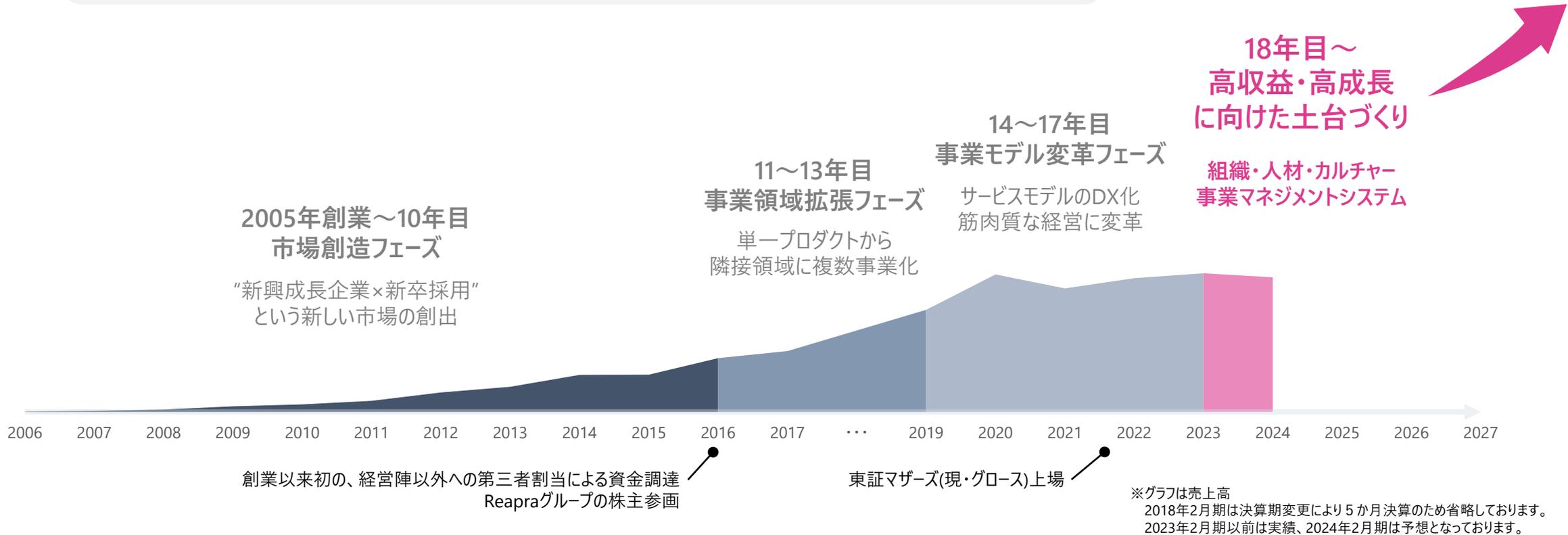
- 事業及び組織の好循環の起点となる良質なリーダーを再現性高く輩出するためのスローガン流リーダーシップ開発
- 上記を通じたカルチャーの醸成と浸透
- 業績及びKPIマネジメントシステムの見直し・改善による深度向上と施策創出
- 相対優位性の高いオペレーションの構築による価値源泉の継続的な強化

# 短期的には高収益・高成長に向けた土台作りにフォーカス

超過利益の創出と再投資による継続的な高収益・高成長に向けて、  
まず組織・人材・カルチャーと事業マネジメントシステムに取り組み、  
一人当たり営業利益の向上を通じた土台づくりを行う。

## 高収益・高成長フェーズ

超過利益の創出と再投資による継続的な好循環型成長モデルの確立



## Mission

人の可能性を引き出し 才能を最適に配置することで 新産業を創出し続ける。

～「新産業領域における人的資本投資」というテーマにおいて、社会の歪みを解消し続けるアプローチ～



### ① 新産業領域における労働市場の社会背景

### ③ 解消したい歪み

「若手人材の就業と活躍」  
「情報の非対称性と認知」

### ② 創り出したい社会

「新産業領域の人と組織の  
可能性が引き出され活気づく社会」

### ④ スローガン自身が目指したい姿

「新産業領域の人と組織に関する専門性とテクノロジー  
を有したプロフェッショナルカンパニー」

# SLOGAN

現在

将来

# 長期ビジョン | ①新産業領域における労働市場の社会背景

## 今後10年で労働市場に起きるであろう大きな変化

深刻な少子高齢化の進行により、労働人口減少に伴う経済成長への強い危機感が高まり、若手人材の獲得及び活躍、最適配置が官民間わらず重要な社会課題となる。  
「成長分野への人材移動」と「労働市場の健全な流動化」が不可欠

### 雇用に関する伝統的構造

- アナログ型産業に適した教育/労働慣行
- 相互コミット/画一的雇用形態 (年功序列・新卒一括採用・終身雇用)
- 転職市場の未発達
- キャリア形成情報のブラックボックス化

< 受け身的なキャリア観 >

### 経済の環境変化

- 経済のグローバル化
- テクノロジーの発達
- 産業構造のサービス化/ソフト化
- 労働人口減少

### 失われた30年

- 日本企業の国際競争力低下
- 労働生産性低
- 賃金低迷
- エンゲージメント低
- 人的資本投資の低迷

< 安定・ブランド志向vs挑戦志向 >

### 臨界点を前にした大変化

- コーポレートガバナンス改革
- 人的資本に関する諸政策
- 多様性の受容
- オープンイノベーション
- 雇用形態の柔軟化 (Job型雇用・副業等)
- 起業に対する支援拡大
- 若手/高度人材獲得競争激化

< 主体的で多様なキャリア観 >

# 長期ビジョン | ②創り出したい社会と④スローガン自身が目指したい姿

創り出したい社会

## 新産業領域の人と組織の可能性が引き出され活気づく社会

人

組織



# 長期ビジョン | ③解消したい歪み

## 若手人材の就業と活躍における歪み

**Goodfind**  
You'll find good to great.

**FactLogic** Intern Street

**Goodfind Career**

**G3 TeamUp** **メタナビ**



## 新産業領域に関する 情報の非対称性と認知の歪み

**FASTGROW**

# 新産業領域の労働市場における社会の歪み

# Appendix

## メディア掲載事例

「人的資本投資 × 新産業領域」という政府の重点投資分野と合致する当社の事業活動について、下記メディア掲載事例をご参照ください。

### ■書籍出版：『Shapers 新産業をつくる思考法』

<https://www.slogan.jp/news/2021/0129-807/>

### ■メディア掲載：「Forbes JAPAN（フォーブス ジャパン）」

テーマ：『若手人材がスタートアップ／ベンチャーに目を向ける仕組みの構築 — スローガンの「日本再興戦略」』

<https://forbesjapan.com/articles/detail/45678>

### ■メディア掲載：「経営ハッカー」（運営：freee株式会社）

テーマ：「スローガン伊藤豊社長、北川裕憲取締役に聞く～新産業を生み出すために人的資本市場を創造するとは？」

<https://keiei.freee.co.jp/articles/i0102095>

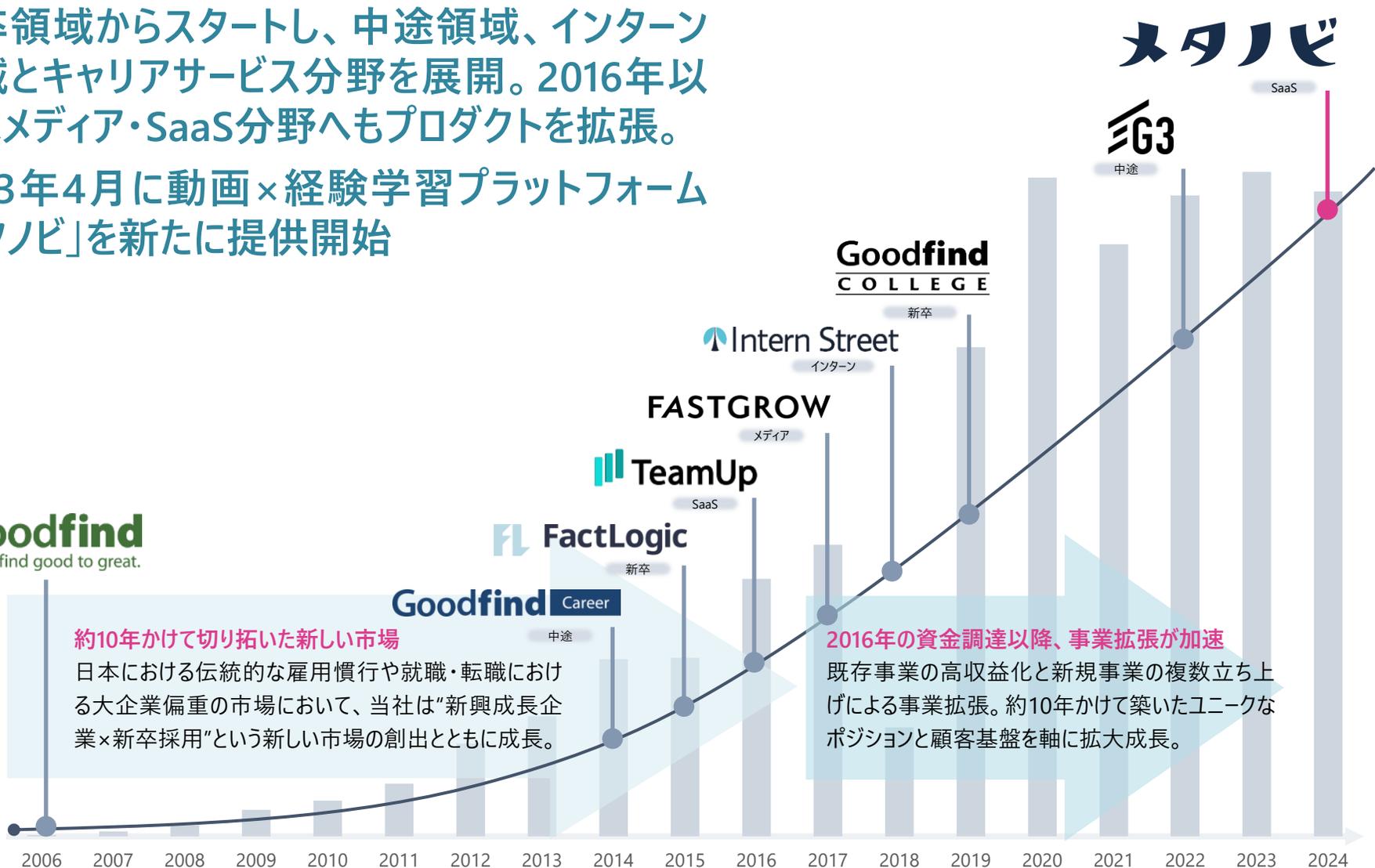


## これまでの軌跡

新卒領域からスタートし、中途領域、インターン領域とキャリアサービス分野を展開。2016年以降はメディア・SaaS分野へもプロダクトを拡張。

2023年4月に動画×経験学習プラットフォーム「メタノビ」を新たに提供開始

**Goodfind**  
You'll find good to great.



約10年かけて切り拓いた新しい市場

日本における伝統的な雇用慣行や就職・転職における大企業偏重の市場において、当社は“新興成長企業×新卒採用”という新しい市場の創出とともに成長。

2016年の資金調達以降、事業拡張が加速

既存事業の高収益化と新規事業の複数立ち上げによる事業拡張。約10年かけて築いたユニークなポジションと顧客基盤を軸に拡大成長。

【2023年4月提供開始】

動画×経験学習プラットフォーム  
「メタノビ」

メタ認知で行動変容を生み出すサイクルで、人材育成課題を解決します。

メタノビは、バイアスやモノの見方にフォーカスした独自の動画コンテンツにより、経験学習モデルを活用した継続的な学習機会の提供を行うプラットフォームです。

※ グラフは売上高の推移

創業以来初の、経営陣以外への第三者割当による資金調達

# マネジメントチーム

## 2023年3月1日付で新経営体制への移行が完了

新経営体制の詳細については、2022年11月16日に公表した「[代表取締役及び取締役の異動に関するお知らせ](#)」をご覧ください。



**仁平理斗** (にひら まさと)  
代表取締役社長

1986年生まれ。早稲田大学国際教養学部在学中の2008年より創業期の当社にインターンとして約1年半在籍、事業責任者を務めた後、2010年、(株)ディー・エヌ・エーに入社。複数の事業立ち上げやゲームタイトルのプロデュースを経験。2016年12月当社入社。執行役員事業部長を経て、2023年3月より現職。



**北川裕憲** (きたがわ ひろのり)  
取締役副社長

1986年生まれ。明治大学経営学部在学中の2008年よりインターンとして当社に参画し、約3年半にわたり財務・経理を中心とした経営管理業務に従事。早稲田大学大学院会計研究科修了後の2011年、新創監査法人に入所し、監査業務に従事。2015年7月、当社に入社し、2023年3月より現職。公認会計士・税理士。



**伊藤豊** (いとう ゆたか)  
取締役

1977年生まれ。東京大学文学部行動文化学科卒業後、2000年に日本アイ・ビー・エム(株)に入社。システムエンジニアの経験の後、関連会社での新規事業企画・プロダクトマネジャーを経て、本社でのマーケティング業務に従事。2005年に当社を創業し、代表取締役社長に就任。著書に「Shapers 新産業をつくる思考法」



**杉之原明子** (すぎのはら あきこ)  
社外取締役

早稲田大学卒業後、(株)ガイアックス入社。事業責任者を経て、アディッシュ(株)設立と同時に取締役(現任)就任。特定非営利法人みんなのコードCOO(現任)、スポンサーシップ・コミュニティ代表発起人、(株)Kaizen Platform社外取締役(現任)。



**水永政志** (みずなが まさし)  
社外取締役

三井物産(株)、米国カリフォルニア大学ロスアンゼルス校経営大学院修士課程修了(MBA)、(株)ボストン・コンサルティング・グループ、ゴールドマン・サックス証券会社を経て2002年スター・マイカ(株)代表取締役社長(現任)就任。東京大学卒業。



**諸藤周平** (もろふじ しゅうへい)  
社外取締役

(株)エス・エム・エスの創業者であり、11年間にわたり代表取締役社長として同社を東証一部上場まで牽引。同社退任後2014年より、シンガポールにてReapra Pte. Ltd.を創業し、Director就任(現任)。九州大学経済学部卒業。



**林田真由子** (はやしだ まゆこ)  
常勤監査役

慶應義塾大学法学部卒業。2001年旭硝子(株)(現AGC(株))入社。2015年に当社入社し、事業部門での経験を経て、2018年5月より現職。



**江原隼一** (えはら じゅんいち)  
社外監査役

2006年(株)サンフィニティー入社後、同社経営管理本部長を経て、2008年(株)リブセンスに入社。2010年から同社常勤監査役(現任)。2013年より(株)クラウドワークス社外監査役(現任)。



**中川紘平** (なかがわ こうへい)  
社外監査役

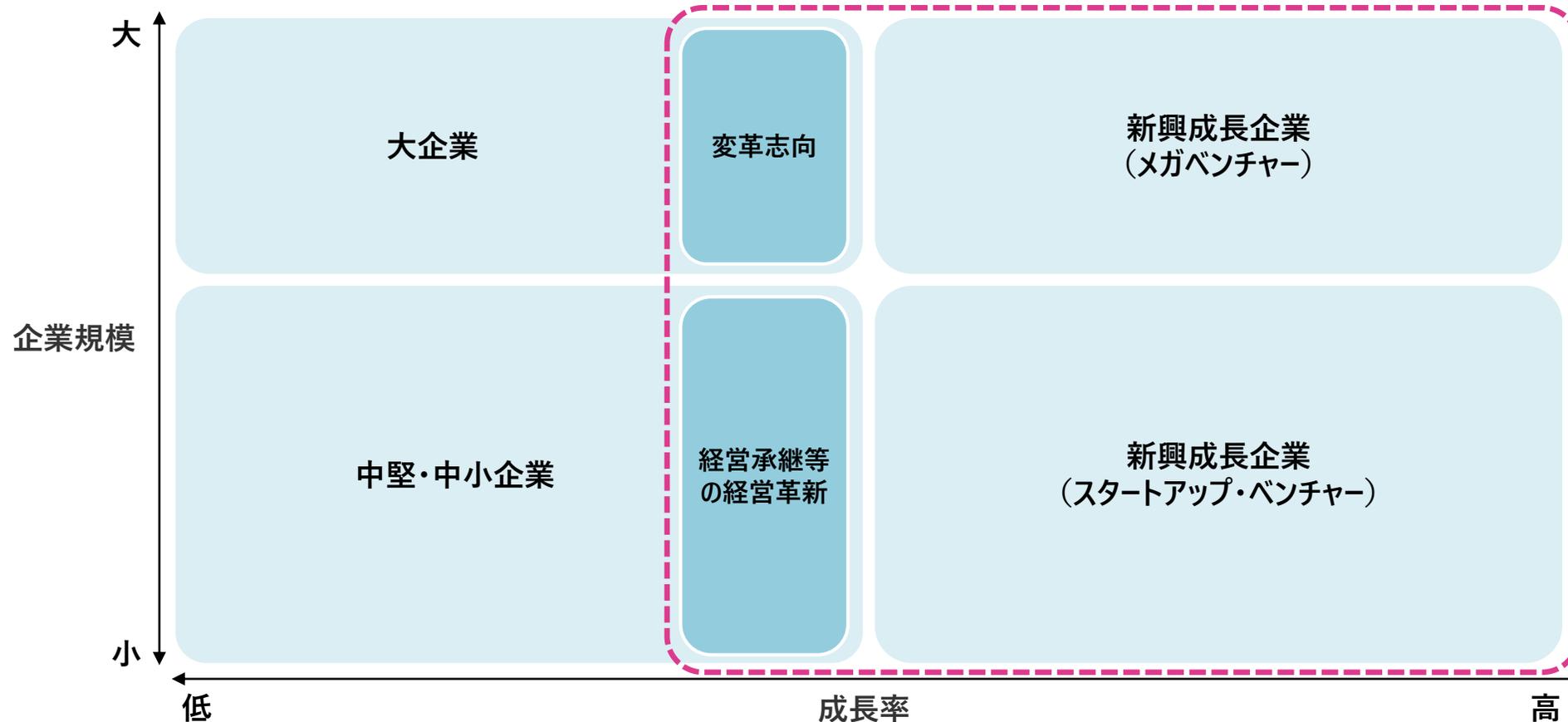
東京大学法学部卒。2002年第一東京弁護士会弁護士登録。2014年ニューヨーク州弁護士登録。TMI総合法律事務所パートナーを経て、NEXAGE法律事務所開設。2017年よりプロパティエージェント(株)社外監査役(現任)。

1. 伊藤豊氏、水永政志氏、諸藤周平氏は、第18回定時株主総会終結の時をもって任期満了により退任予定となっております。
2. 諸藤周平氏は、退任後当社エグゼクティブアドバイザーに就任予定となっております。

# 新産業領域における人材トランスフォーメーションを推進

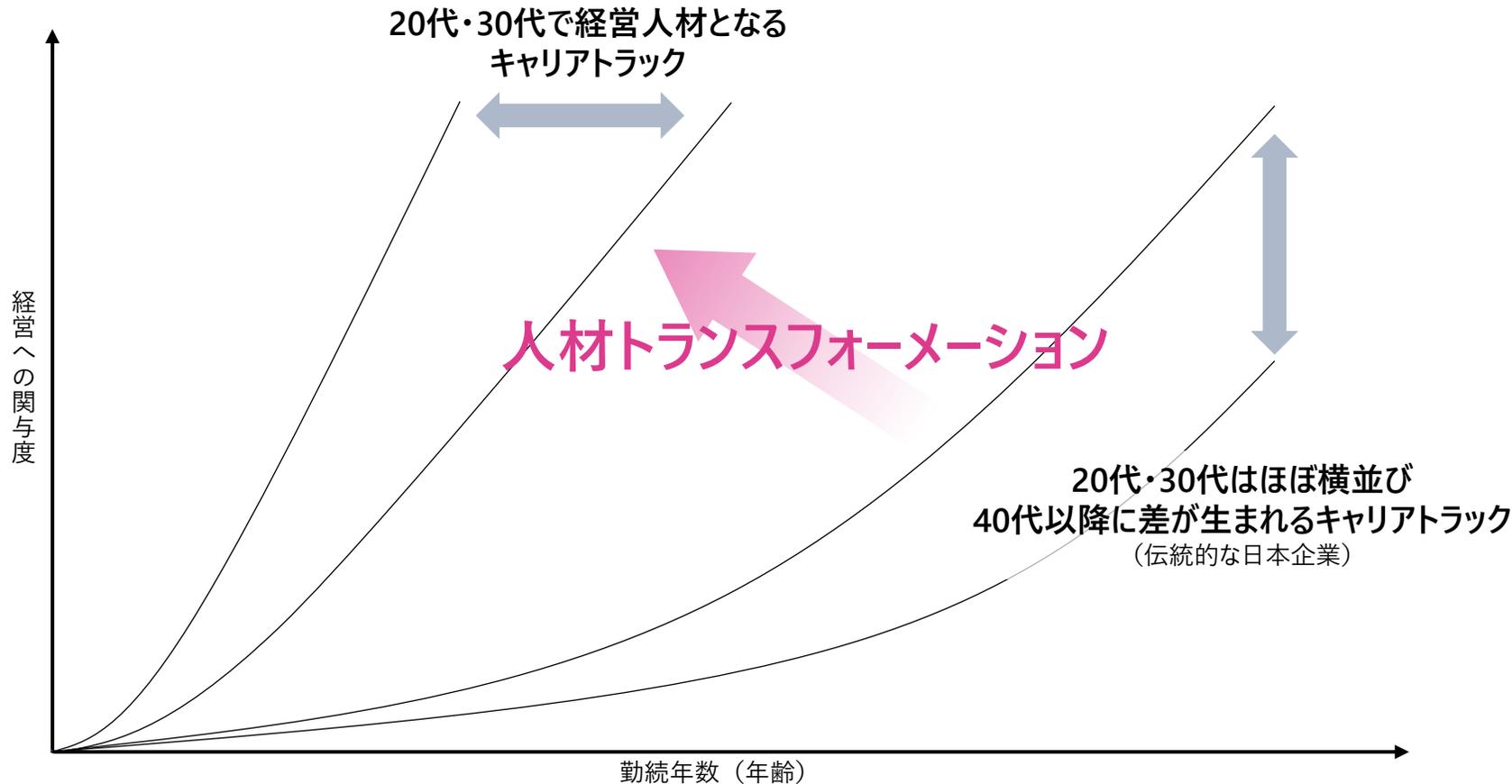
少子高齢化・人口減少によりマクロトレンドとして産業が拡大しにくい日本社会において、  
新産業領域の成長及び成長ための人材トランスフォーメーションは不可欠

## 新産業領域 × 人材トランスフォーメーション



## 人材トランスフォーメーションによりイノベーションの担い手を増やす

組織における人材の持つ価値を最大限引き出すために行う採用、配置、育成、文化浸透等の組織施策における変革を、人材トランスフォーメーションと当社で定義しております。



- 日本の労働市場においては、伝統的な雇用慣行や就職観念、人事・組織制度等により、20代・30代はほぼ横並びとなり、40代以降に差が生まれるキャリアトラックとなる傾向
- このような傾向により、新産業領域の企業においてイノベーションの担い手となる人材が生まれにくい現状に着目
- 経営人材としての可能性を早期に発掘及び開発し、20代・30代で経営人材になれるキャリア機会を創出することで、新産業領域の成長に貢献

# キャリアサービス分野 | Goodfindのユニークなビジネスモデルを支える3つのCapability

3つのCapabilityにより、競合が多い顕在化したマーケットではなく、潜在的なマッチング可能性のある顧客を発見し、行動変容を生み出し、適切なマッチングを生み出すことで、市場を創造

Capability1



Capability2



Capability3

## 顧客の目利き力

- 成長性の高い新産業領域の企業を厳選して開拓
- 新興成長企業を中心とした過去の取引実績により、新産業領域において構築された情報取得のネットワーク

## 行動変容を生み出す力

- 新産業領域の魅力を伝えるコンテンツ
- バイアスに対する行動変容を生み出すコンテキスト・コンテンツ
- メディアによる情報提供のみならず、個別面談やセミナー・イベント等により上記コンテキスト・コンテンツを伝える

## マッチング力

- 行動変容を生み出す力により形成されるGoodfindのユーザーポジション
- 経年で蓄積されるデータとその活用
- 顧客の採用成功をサポートするプロジェクト推進力

### 上記Capabilityを支える当社における人的資本の優位性

新産業領域における人材創出を事業としているため、当社の採用においてもその経験を活用

ミッションへの共感を重視し、人の可能性を引き出す組織文化を醸成することで、メンバーの活躍を支援

DE&I<sup>(1)</sup>の推進により社内の働きやすさを向上し、また多様な人材を受け入れることで、高い組織エンゲージメントを実現

1. 「DE&I」とは、企業、学校、自治体等の組織における社会の多様性（ダイバーシティ：Diversity）、公平性（エクイティ：Equity）、包摂性（インクルージョン：Inclusion）を高めるための取り組みのことを言います。

# Capability1 | 顧客の目利き力

成長性の高い新産業領域の企業を厳選して開拓。顧客の多くはDX・SaaS関連企業<sup>(1)</sup>に該当し、今後の成長性は高い。非上場から新卒採用を支援した上場企業の実績多数

## Goodfindにおける顧客開拓

- 成長性の高い新産業領域の企業を厳選して開拓する方針
- スタートアップ・ベンチャー企業が顧客のほとんどを占め、今後新卒採用需要の拡大が期待される顧客層
- また、今後の市場規模の拡大が見込まれ、成長性の高いDX・SaaS関連市場において事業を展開するDX・SaaS関連企業に注目

## 上場企業の支援実績例<sup>(2)(3)</sup>

非上場の時代に当社が開拓して新卒採用を支援。その後上場して継続的な成長を続ける顧客実績例



Speee

株)Speee  
2010年取引開始  
→2020年JASDAQ上場



HENNGE株  
2015年取引開始  
→2019年マザーズ上場



株)GA technologies  
2017年取引開始  
→2018年マザーズ上場



ラクスル株  
2017年取引開始  
→2018年マザーズ上場  
→2019年東証一部へ市場変更



株)セルム  
2014年取引開始  
→2021年JASDAQ上場



ソールドアウト株  
2012年取引開始  
→2017年マザーズ上場  
→2019年東証一部へ市場変更<sup>(4)</sup>



gooddaysホールディングス株  
2012年取引開始  
→2019年マザーズ上場



Sansan株  
2010年取引開始  
→2019年マザーズ上場  
→2021年東証一部へ市場変更



RPAホールディングス株  
2010年取引開始  
→2018年マザーズ上場  
→2019年東証一部へ市場変更



株)レノバ  
2015年取引開始  
→2017年マザーズ上場  
→2018年東証一部へ市場変更



フリー株  
2015年取引開始  
→2019年マザーズ上場



株)ネットプロテクションズ  
2010年取引開始  
→2021年東証第一部上場<sup>(5)</sup>

1. DX・SaaS関連企業とは、テクノロジーや情報システム、AIやロボティクスの活用、メディア運営等のITを活用した課題解決を事業とする会社及びこれらの会社に対するサービス提供を行う会社と当社で定義しております。
2. 取引開始年は、原則としてGoodfindで初めて掲載又はセミナー等を開催した日となります。
3. 上場市場については、上場又は市場変更時点の名称を記載しております。
4. 2022年5月9日付で、同社の特別支配株主である株式会社博報堂D Yホールディングス（コード：2433、市場区分：プライム市場）による株式等売渡請求（効力発生日：2022年5月11日）が承認されたため、上場廃止となりました。
5. 東証第一部に上場したのは、株式会社ネットプロテクションズホールディングスとなります。

## Capability2 | 行動変容を生み出す力

新産業領域の魅力伝え、無思考に伝統的な大企業を好むブランド選好等のバイアスを取り除くコンテキスト・コンテンツの提供により、学生の行動変容を生み出す

### 企業とのタイアップセミナー・イベント

新産業領域の企業とのタイアップにより、経営者や事業責任者など第一線で活躍する方をゲストとして招待し、ビジネスとキャリアに対する考え方や経験を学生に伝える企画を提供します。企画から運営までを当社が実施し、新産業領域の魅力やキャリアの考え方を伝えます。

(セミナー・イベント例)



「Business Leader's Perspective」  
ビジネスとキャリアの最先端・最深部を知る経営者たちが自らの実践を通じて得た、価値ある知見を届ける連続講演イベント。

### キャリアセミナー

Goodfind講師や外部ゲストによるキャリアセミナー。世界・日本のビジネスやキャリア動向をテーマにしたセミナーや、今後成長する注目業界をテーマにしたセミナーなどを開催し、学生のキャリア形成における考え方を学ぶ機会を提供しています。

(セミナー例)



伊藤忠商事出身投資家と当社代表・伊藤のタイアップによる「デジタル・IT領域の注目企業」

Goodfind講師による「マクロ視点で読み解く、世界・日本のビジネスとキャリア動向とは？」



### インキュベーションパートナーによる個別面談

就職活動やキャリア形成に関する相談、自己分析や面接対策相談などを1on1形式で実施いたします。経験豊富な当社インキュベーションパートナーが学生一人一人に向き合い、個別面談を通じて得た情報やセミナー・イベントの参加情報等を基に、志向性に合った企業の紹介を行います。



- ✓ キャリア形成におけるアドバイス
- ✓ 業界や企業に関する情報提供
- ✓ 自己分析や面接対策
- ✓ 志向性に合った企業の紹介

### スキルアップセミナー

Goodfind講師によるスキルアップセミナー。ロジカルシンキングやグループディスカッション、エントリーシート・面接対策などをテーマにした選考対策セミナーを開催。選考通過だけを目的とせず、社会人になっても役立つ本質的なコンテンツにより学びの機会を提供しています。

(セミナー例)



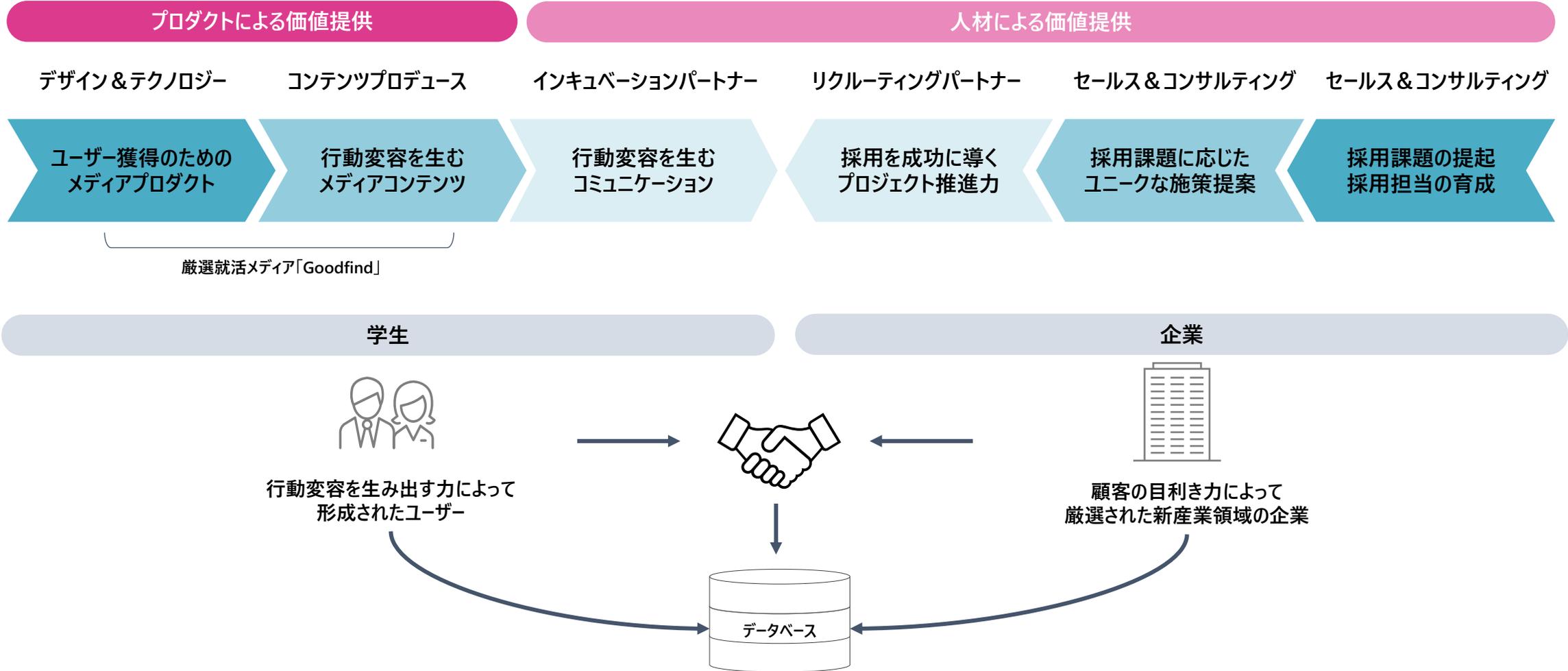
「面接力を高める自己PR & コミュニケーション力養成講座」

「反復演習で知識とスキルを定着させる、オンラインGD練習会」



## Capability3 | マッチング力

顧客の目利き力によって厳選された新産業領域の企業と、行動変容を生み出す力により形成されるユーザーとを、「プロダクト(Goodfind)」と「人材」による価値提供を通じてマッチング



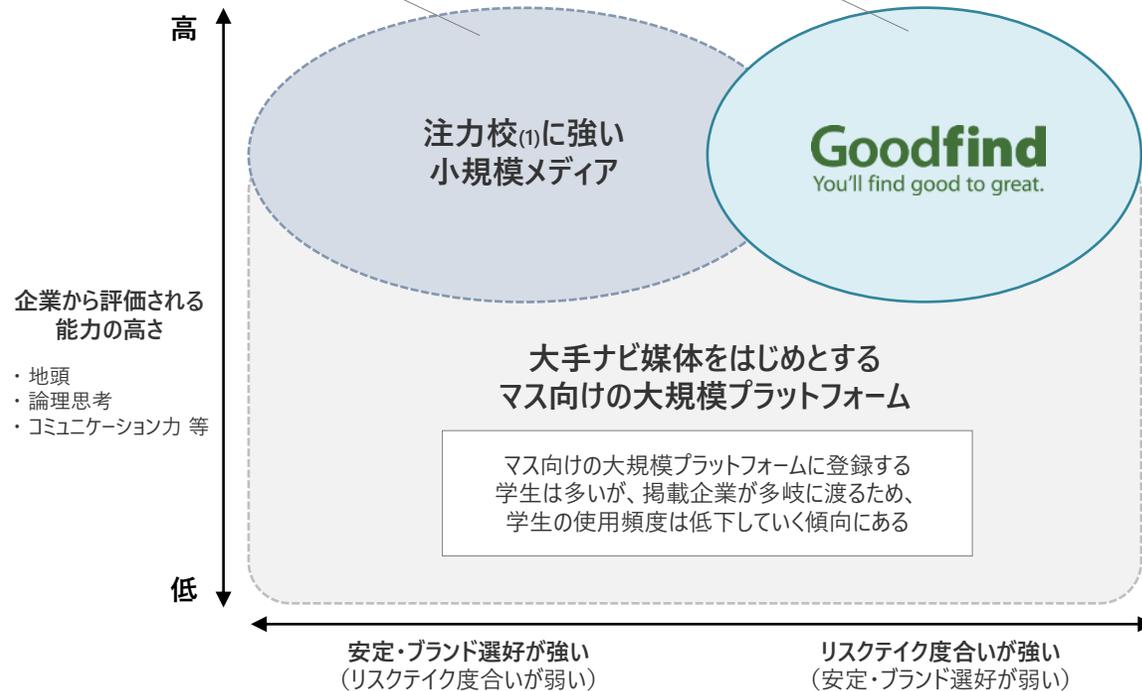
# Capability3 | マッチング力

## 行動変容を生み出す力により形成されるGoodfindのユーザーポジション 安定・ブランド選好というバイアスが除かれた注力校<sup>(1)</sup>ユーザーが中心

### ユーザー属性による「Goodfind」のポジショニング

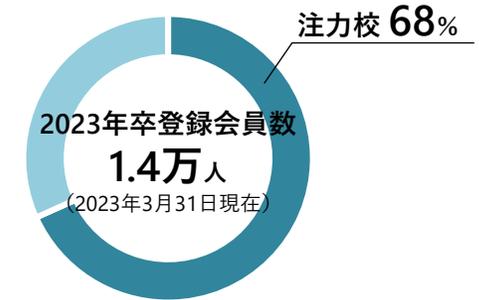
伝統的大企業を掲載すれば学生は容易に集客できるが、安定・ブランド選好というバイアスを取り除かない限り、新産業領域の企業への就職にはつながらない

バイアスを取り除くコンテキスト・コンテンツにより、安定・ブランド以外のキャリア軸への行動変容を生み出し、新産業領域へのキャリア機会を創出

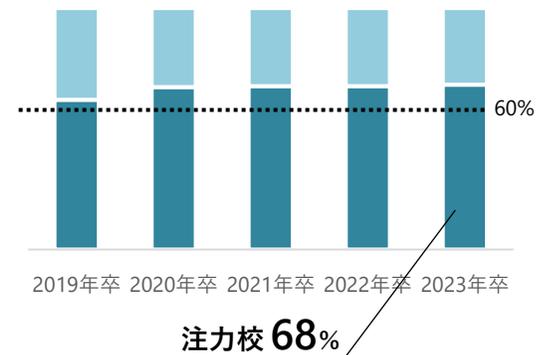


### 会員構成割合

#### 2023年卒会員構成比



#### 会員構成比推移



1. 「Goodfind」は学生であれば会員資格を有し、学校名による選別は行っておりませんが、顧客企業における過去の採用実績や学生動向等を考慮して注力校を定義し、注力校の会員数及びその割合をモニタリングしております。本資料公表日現在における注力校は、東京大学、京都大学、早稲田大学、慶應義塾大学、東京工業大学、一橋大学、大阪大学、神戸大学、北海道大学、東北大学、名古屋大学、九州大学、上智大学、東京理科大学、青山学院大学、立教大学、明治大学、法政大学、中央大学、同志社大学、立命館大学、関西学院大学、関西大学、国際基督教大学、横浜国立大学、国際教養大学、立命館アジア太平洋大学と定義しております。

## 業績の季節的変動について

新卒人材紹介手数料(成功報酬)に係る売上高は入社日に計上されるため、入社日が集中するQ1に四半期業績は偏重する傾向

Q1	Q2	Q3	Q4
新卒成功報酬(※)			
長期インターン / 中途成功報酬			
成功報酬以外 (コンサル・メディア・SaaS等)			

※ 入社日がQ1以外に帰属する場合があります。

## 要約連結損益計算書

(単位：百万円)	2022年2月期		2023年2月期	
		百分比		百分比
売上高	1,418	100.0%	1,471	100.0%
売上原価	53	3.7%	49	3.4%
売上総利益	1,365	96.3%	1,422	96.6%
販売費及び一般管理費	1,106	78.0%	1,213	82.5%
営業利益	258	18.2%	208	14.2%
経常利益	283	20.0%	209	14.3%
当期純利益	207	14.7%	139	9.5%

## 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)	2022年2月期末		2023年2月期		
		構成比		構成比	前期末比
流動資産	1,967	98.4%	1,784	94.0%	△9.3%
(内、現金及び預金)	1,817	90.9%	1,656	87.3%	△8.8%
固定資産	32	1.6%	113	6.0%	+251.8%
<b>資産合計</b>	<b>1,999</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,898</b>	<b>100.0%</b>	<b>△5.1%</b>
流動負債	770	38.5%	525	27.7%	△31.7%
固定負債	1	0.1%	—	—%	△100.0%
<b>負債合計</b>	<b>771</b>	<b>38.6%</b>	<b>525</b>	<b>27.7%</b>	<b>△31.9%</b>
(内、有利子負債)	21	1.1%	1	0.1%	△92.1%
資本金	503	25.2%	12	0.7%	△97.5%
資本剰余金	505	25.3%	1,000	52.7%	+98.2%
利益剰余金	271	13.6%	411	21.7%	+51.4%
自己株式	△52	△2.6%	△52	△2.8%	+0.2%
<b>純資産合計</b>	<b>1,227</b>	<b>61.4%</b>	<b>1,372</b>	<b>72.3%</b>	<b>+11.8%</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,999</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,898</b>	<b>100.0%</b>	<b>△5.1%</b>

## 剰余金の配当に関するお知らせ

2023年4月13日開催の取締役会において、以下のとおり、2023年2月28日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて、2023年5月30日開催予定の第18回定時株主総会に付議することを決議しました。

※ 2023年4月13日公表の「剰余金の配当に関するお知らせ」を合わせてご覧ください。

	決定額	直近の配当予想 (2023年2月15日公表)	前期実績 (2022年2月期)
基準日	2023年2月28日	2023年2月28日	2022年2月28日
1株当たり配当金	8円00銭	8円00銭	0円00銭
配当総額	20百万円	—	—
効力発生日	2023年5月31日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

## 本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の結果や業績は、将来予想に関する記述によって明示的又は黙示的に示された将来の結果や業績の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内及び国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいております。

本資料は、情報提供のみを目的として作成しており、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。